

2026

要 覧

独立行政法人 国立高等専門学校機構

呉工業高等専門学校

2026 College Bulletin

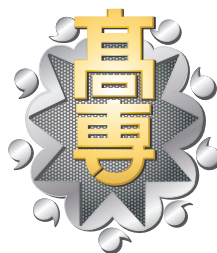
National Institute of Technology (KOSEN), Kure College

Realize Your Dream



君の未来を共に創る

校章
Emblem



校旗
Flag



本校の校章は、呉市にちなんで呉市の市章の中に「高専」の文字を入れたものです。呉市の市章は、呉市の周辺が九つの峰で囲まれていることから、これを呉（九嶺）としてあやかり、カタカナの「レ」で九つの星形をかたどったものですが、本校の校章はそれを楕円形とし、更に波の形が付加されています。レの字が山の強さを、波が瀬戸内海の柔らかい水を表徴しています。鉄のように鋭い剛なものを骨とし、方円に従う水のような柔らかさを肉として包むのが我が校風です。

ロゴマーク
Logo



ロゴマーク立体版
3D Logo



本校のロゴマークは、呉高専が独立行政法人になることをきっかけに平成 16 年に制定し、導入されました。図案は学内コンペで募集し、多数の応募の中から当時建築学科 4 年生の図案が最優秀作品に選ばれました。呉高専の頭文字「K」を形どった人の形（学生をイメージ）は、手を未来を示すように空に向かって伸ばし、右肩上がりで学校の飛躍発展を意味しています。円は学校・社会・日本などのさまざまな意味を持ち、そこから一步踏み出して、地域社会や国際的な場で夢を実現させることを意味しています。平成 29 年度からはロゴマーク立体版も制定され、呉高専のイメージアップを図っています。

設置学科
Departments

【本科 **Regular courses**】定員 800 名（修業年限：5 年）
機械工学科／電気情報工学科／環境都市工学科／建築学科
【専攻科 **Advanced course**】定員 80 名（修業年限：2 年）
プロジェクトデザイン工学専攻

卒業生数
Number of graduates

機 械 工 学 科	2,173 名 (54 名)
Mechanical Engineering	
電 気 工 学 科	1,399 名 (60 名)
Electrical Engineering	
電 気 情 報 工 学 科	786 名 (57 名)
Electrical Engineering & Information Science	
土 木 工 学 科	907 名 (49 名)
Civil Engineering	
環 境 都 市 工 学 科	1,013 名 (251 名)
Civil & Environmental Engineering	
建 築 学 科	2,157 名 (671 名)
Architecture & Structural Engineering	
合 計	8,435 名 (1,142 名)
Total	() は女子内数 (Number of girls)

修了者数
Number of graduates

機 械 電 気 工 学 専 攻	212 名 (2 名)
Advanced Mechanical & Electrical Engineering	
建 設 工 学 専 攻	177 名 (50 名)
Advanced Architecture & Civil Engineering	
プロジェクトデザイン工学専攻	296 名 (37 名)
Project Design Engineering	
合 計	685 名 (89 名)
Total	() は女子内数 (Number of girls)

令和 8 年 3 月 31 日現在
As of March 31, 2026

地域社会から世界まで貢献できる優秀な技術者の育成

Fostering excellent engineers who can contribute from the local community to the world.

OECDによる教育改革である「Education2030」やユネスコの教育プランの「ESD2030」に示されるように、さまざまな地球的課題や地域的課題の解決のためには、知識やスキルを習得するだけではなく、それらを活用できるコンピテンシーの育成が求められています。コンピテンシーというのは、獲得した知識やスキルを活用して課題解決を図る形成能力のことを言います。探究心をもったデザイン思考力や他者とのかかわりを持った探求型協働学習によって、論理的思考力、システム思考力、あるいはデザイン思考力などの多様な思考力を駆使して課題解決を図り、積極的に社会参画を協働で取り組むような人間力を高める教育をめざす必要があると考えています。これまで小学校や中学校の授業で習った知識（knowledge）は、クイズ番組に強くなるとか、定期試験で良い点を取るなどで役立つかもしれませんが。しかし高専ではそれ以上のことを求めたいと思います。つまり、獲得した断片的な知識と知識を組み立てたり、関連付けて考えたりすることによって、知識を知恵（wisdom）に高めることができるような多様な思考力を習得して欲しいのです。

中学生の段階で工学や情報学に興味を持って入学してきた皆さんに対して、呉高専は多くの教育プログラムを用意しています。自然科学と人文・社会科学に関して基礎学力をベースにした「総合知」を修得し、地球的視点や地域的視点でものごとの本質を考えることができる、優秀な技術者や研究者を育成するためのプログラムです。中でも、自ら課題を見出し、アイデアを創出し、それを具現化できる、「プロジェクトをデザインできる人材」を育成すべく、全校あげて「インキュベーションワーク」に力を入れて取り組んでいます。

併せて、皆さんが学びを深め、学び合う体制づくりも強化しています。専攻科定員の大幅増員を伴う改組により、7年一貫工学教育の体制を強化しました。また、将来の日本を担う研究者・技術者として、大学の理工系学部や大学院への編入や進学の期待を受け、「広島大学・呉高専連携大学院進学制度」を構築し、本科・専攻科から大学への編入・大学院への進学など、大学との連携一環教育および連携研究体制の展開を図っています。さらに「呉高専地域コンソーシアム」を設立し、呉市、くれ産業振興センターとの3者協定の締結により、地域連携体制に基づく教育の充実も進めています。

皆さんを支える高専の教職員スタッフは大学と同じようにそれぞれの分野の研究者が質の高い授業を行っています。より高度な研究を求める人には、大学への編入や大学院進学も可能です。このように呉高専はみなさんの可能性を伸ばし、人生の目標を立てて、それに向かって多面的で多角的な視野から考え、行動できるように将来を見据えた教育・研究を行う教育研究機関です。



校長 由井 義通
博士（文学）

Yui Yoshimichi, Ph.D. (Letters)

呉工業高等専門学校校歌

作詞 葛西 重男
作曲 早川 正昭

一 寄りきそう 九嶺の山々
あかつきの 光映えたり
ああ、ここに集う 我等若人
仰ぎ見る 峯の姿に

大いなる 望み抱きて
友よ、友よ、いざ
たくましく わが命育てん

二 清らなる 大川の水
悠久の 時流れたり
ああ、ここに集う 我等若人
緑なす 水上の辺に
湧きいづる 知識求めて
友よ、友よ、いざ
ひとすじに わが力つくさん

三 夕霧ろう 瀬戸の内海
往きかいの 船呼びあえり
ああ、ここに集う 我等若人
麗しき 学びの舎に
永遠の世の 平和めざして
友よ、友よ、いざ
もろともに わが業を励まん



Contents

校長挨拶 Greeting from the President	2
沿革・概要 History and Overview	4
教育理念、教育目的、学習・教育目標、3つのポリシー Educational philosophy. Purpose of education. Learning/Education Goals. 3 policies	6
Realize Your Dream・学生の受賞歴 Realize Your Dream/Awarded Students	10
学科等の紹介 Introduction of Departments	
■ 機械工学科 Mechanical Engineering	12
■ 電気情報工学科 Electrical Engineering and Information Science	14
■ 環境都市工学科 Civil and Environmental Engineering	16
■ 建築学科 Architecture and Structural Engineering	18
■ 一般科目 General Education Program	20
■ 専攻科 Advanced Course	22
学校行事 College Events	26
教育活動 Educational Activities	28
地域実践教育センター Local Practical Education Center	30
国際交流 International Exchange	32
地域との連携 Cooperation with the Community	34
学生会 Student Associations	36
施設 Facilities	
体育施設 Sports Facilities	37
福利厚生施設 Welfare Facilities	38
総合情報センター General Information Center	39
協働研究センター Collaborative Research Center	40
技術センター Technical Center	41
学生寮 Student Dormitory	42
図書館 Library	44
図書館棟とその周辺 Library Building and Surroundings	45
組織 Organization	46
教員一覧 List of Faculty	48
資料 Documents	
在学状況等 Enrollment Status	52
入学選抜実施状況 Admission Screening	53
修学経費等 Study Expenses	54
進路状況 Career Course	54
進学状況 Advancement to Further Studies	55
就職状況 Employment Situation	56
教員の研究活動の推移 Faculty Research Activities	58
収入支出決算額 Income/Expenditure Settlements	58
施設の概要 Facility Overview	59
呉市の紹介・本校へのアクセス Introduction of Kure City / Access Map	60

沿革 History

昭和37年 (1962)	8月13日	呉工業高等専門学校設置期成同盟会設立
昭和38年 (1963)	4月1日	国立学校設置法の一部を改正する法律(昭和38年法律第69号)により、呉工業高等専門学校の39年度開校が決定(機械工学科、電気工学科、建築学科)
昭和39年 (1964)	4月1日	初代校長に葛西重男(広島大学工学部教授)が就任
	4月20日	開校式及び第1回入学式挙行
昭和42年 (1967)	4月1日	事務部に庶務課及び会計課設置
昭和44年 (1969)	3月18日	第1回卒業証書授与式挙行
	4月20日	土木工学科増設
昭和47年 (1972)	4月1日	事務部に学生課設置
昭和49年 (1974)	11月16日	創立10周年記念式典挙行
昭和50年 (1975)	4月1日	第2代校長に佐藤重夫(広島大学工学部教授)が就任
昭和54年 (1979)	4月1日	編入学生受入れ開始
昭和58年 (1983)	6月2日	第3代校長に西正任(広島大学工学部教授)が就任
昭和59年 (1984)	10月18日	創立20周年記念式典挙行
昭和62年 (1987)	4月1日	情報処理センター設置
平成元年 (1989)	4月1日	外国人留学生受入れ開始
平成2年 (1990)	4月1日	第4代校長に片島三朗(広島大学工学部教授)が就任
平成6年 (1994)	10月21日	創立30周年記念式典挙行
平成8年 (1996)	4月1日	第5代校長に長町三生(広島大学工学部教授)が就任
〃		土木工学科を環境都市工学科に改組
平成9年 (1997)	4月1日	地域共同技術研究・教育センター設置(平成12年4月1日:地域共同テクノセンターに改称)
平成10年 (1998)	4月1日	専攻科設置(機械電気工学専攻、建設工学専攻)
平成13年 (2001)	4月1日	第6代校長に福永秀春(広島大学工学部教授)が就任
〃		総合教育技術室設置
平成14年 (2002)	4月1日	電気工学科を電気情報工学科に改組
平成16年 (2004)	4月1日	独立行政法人国立高等専門学校機構法(平成15年法律第113号)により、呉工業高等専門学校が設置
平成17年 (2005)	5月12日	技術者教育プログラム「環境都市工学プログラム」をJABEE(日本技術者教育認定機構)が認定
平成18年 (2006)	5月8日	技術者教育プログラム「機械工学コース」、「建築学コース」をJABEE(日本技術者教育認定機構)が認定
平成19年 (2007)	3月28日	大学評価・学位授与機構による機関別認証評価の結果、高等専門学校評価基準を満たしていると認定
平成19年 (2007)	4月2日	第7代校長に遠藤一太(広島大学入学センター長)が就任
平成20年 (2008)	4月1日	事務部2課制(総務課・学生課)に移行
平成21年 (2009)	4月1日	図書館、情報処理センター、地域共同テクノセンター、総合教育技術室を教育センター、協働研究センター、技術センターに改組
平成22年 (2010)	5月13日	技術者教育プログラム「電気情報工学プログラム」をJABEE(日本技術者教育認定機構)が認定
平成24年 (2012)	4月1日	第8代校長に森野数博(徳山工業高等専門学校教授)が就任
平成26年 (2014)	3月26日	大学評価・学位授与機構による機関別認証評価の結果、高等専門学校評価基準を満たしていると認定
平成26年 (2014)	10月25日	創立50周年記念式典挙行
平成28年 (2016)	4月1日	専攻科を改組(プロジェクトデザイン工学専攻)
平成31年 (2019)	4月1日	第9代校長に篠崎賢二(広島大学大学院工学研究科教授)が就任
平成31年 (2019)	4月1日	地域実践教育センター設置
令和3年 (2021)	3月25日	大学評価・学位授与機構による機関別認証評価の結果、高等専門学校評価基準を満たしていると認定
令和3年 (2021)	4月1日	教育センターを総合情報センター、図書館に改組
令和4年 (2022)	4月1日	第10代校長に餘利野直人(広島大学大学院先進理工系科学研究科教授)が就任
令和6年 (2024)	10月28日	創立60周年記念講演会挙行
令和8年 (2026)	4月1日	第11代校長に由井義通(広島大学大学院人間社会科学研究科教授)が就任

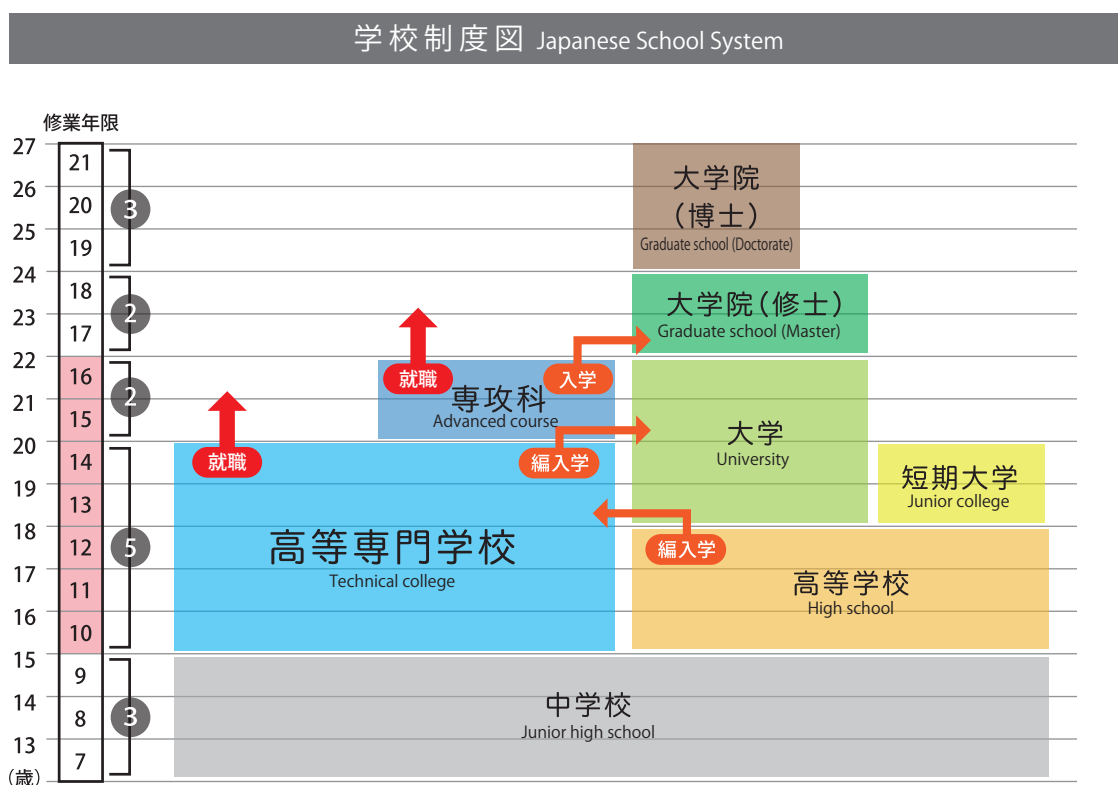
高等専門学校の概要 National Institute of Technology (KOSEN) Overview

昭和 30 年代における我が国の産業界の目覚ましい発展に伴い、科学技術者の需要に即応するため、工業に関する技術者を養成することを目的として、昭和 37 年度から新たな学校制度として、高等専門学校が発足し、昭和 39 年に呉工業高等専門学校が創立されました。

高等専門学校は、中学校卒業程度を入学資格とする 5 年制の高等教育機関であり、深く専門の学芸を教授し、豊かな教養と職業に必要な能力を育成することを目的としています。

科学技術の高度化に伴い、高等専門学校卒業後、進学を希望する者のために、平成 3 年の学校教育法の一部改正により、精深な程度において特別の事項を教授し、その研究を指導することを目的として高等専門学校に新たに専攻科制度が創設され、平成 10 年、本校に専攻科（2 年制）が設置されました。

平成 16 年 4 月、高等教育改革の一環として、我が国の高等教育の水準の向上と均衡ある発展を図ることを目的とし、独立行政法人国立高等専門学校機構呉工業高等専門学校が設置されました。



教育理念、教育目的、学習・教育目標、3つのポリシー（本科）

Educational philosophy, Purpose of education, Learning/Educational goals, 3policies(Regular Course)

教育理念

Educational philosophy

「開発研究とものづくりの現場を結ぶ人材であれ」

Be human resources that connect research and development with manufacturing sites.

～ものづくり現場を理解し企画開発力を持った「中核技術者」の育成～

Foster "core engineers" who understand manufacturing sites and have planning and development skills.

本校は、東洋一の技術集積のあった「呉」にある高等専門学校として、15歳からの5年間または7年間の一貫教育、実験・実習を重視した教育活動により、理論と技能を結びつける技術者を育成することを旨とする。

As the foremost school of engineering in East Asia, the National Institute of Technology Kure College aims to develop engineers who can combine theory and skill through five to seven years of integrated education starting at age 15, providing educational activities with an emphasis on experiments and practical training.

本科

Regular Course

教育目的

Purpose of education

豊かな教養と国際性を持ち、それぞれの専門分野において実験・実習・演習を重視した教育により工学に関する知識や技術を身に付け、各分野の課題に対応できる人材を育成する。

We will develop human resources who have rich culture and internationality, acquire engineering expertise through practical education focusing upon experimentations, to handle various issues in each field.

学習・教育目標

Learning and Education Goals

(HA) 豊かな教養と国際性の修得

Acquire a rich culture and internationality

(HC) 専門分野の課題に対応できる能力の修得

Learn to respond to specialized field issues

(HB) 工学に関連する基礎知識の修得

Acquire basic engineering knowledge

(HD) 社会のニーズを捉え、創造的に課題に対応できる能力の修得

Learn to understand social needs and respond to issues creatively

ディプロマ・ポリシー Diploma Policy

※ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー中の(HA)～(HD)は、学習・教育目標とそれぞれ対応しています。

準学士課程卒業認定の基本方針

学習・教育目標に沿って設けた授業科目を履修し、以下の項目にあげる知識・能力を身に付け、167単位以上（一般科目75単位以上、専門科目82単位以上）を修得した学生に準学士（工学）を授与する。

準学士課程で養成する人材像

(HA) 技術者として必要な教養とコミュニケーション力を身に付けている

・人文・社会科学系科目を修得する

(HB) 専門分野に活用できる工学に関する基礎知識を身に付けている

・自然科学系科目を修得する

(HC) 実務や研究に活用できる専門知識や専門技術を身に付けている

・専門科目及び卒業研究を修得する

(HD) 主体的な活動を通し、創造的に課題に対応できる能力を身に付けている

・インキュベーションワークを修得する

準学士課程では、「本科の学習・教育目標 (HA) 豊かな教養と国際性の修得、(HB) 工学に関連する基礎知識の修得、(HC) 専門分野の課題に対応できる能力の修得、(HD) 社会のニーズを捉え、創造的に課題に対応できる能力の修得」の各目標に対応した科目の履修により、167単位以上（一般科目75単位以上、専門科目82単位以上）を修得した学生に卒業を認定し、準学士（工学）と称することを認めます。ここで、一般科目は (HA)、(HB)、(HD) の科目、専門科目は (HC) の科目が対応します。

上記単位の修得により、学則に示す本科の教育目的「豊かな教養と国際性を持ち、それぞれの専門分野において実験・実習・演習を重視した教育により工学に関する知識や技術を身に付け、各分野の課題に対応できる人材を育成する。」を実現します。

具体的な人材像として「(HA) 技術者として必要な教養とコミュニケーション力を身に付けている、(HB) 専門分野に活用できる工学に関する基礎知識を身に付けている、(HC) 実務や研究に活用できる専門知識や専門技術を身に付けている、(HD) 主体的な活動を通し、創造的に課題に対応できる能力を身に付けている」を想定しています。

カリキュラム・ポリシー

Curriculum Policy

低学年は一般科目を中心とし、学年進行に伴い徐々に専門科目の比重を増加し、高学年は専門科目中心となる楔形のカリキュラムとする。また、初年次から、全学科に共通する専門的な科目を設ける。なお、評価はシラバスに示す評価割合に従って行い、60点以上を合格とする。

(HA) 豊かな教養と国際性を修得するために、人文・社会科学系科目を設ける

(HB) 工学に関連する基礎知識を修得するために、自然科学系科目を設ける

(HC) 専門分野の課題に対応できる能力を修得するために、専門科目を設ける

(HD) 社会のニーズを捉え、創造的に課題に対応できる能力を修得するために、総合的な科目を設ける

本科の教育目的「豊かな教養と国際性を持ち、それぞれの専門分野において実験・実習・演習を重視した教育により工学に関する知識や技術を身に付け、各分野の課題に対応できる人材を育成する。」を実現するため、低学年は一般科目を中心とし、学年進行に伴い徐々に専門科目の比重を増加し、高学年は専門科目中心となる楔形のカリキュラムとする。また、初年次から、全学科に共通する専門的な科目を設ける。

各学科の教育目的を実現するため、専門科目ではそれぞれの専門分野において実験・実習・演習を重視する。国立高等専門学校機構モデルコアカリキュラムに準拠し、専攻科との接続を考慮した体系的なカリキュラムを構成する。

全ての授業は、カリキュラム・ポリシーに基づいて、講義、演習、実験・実習など多様な形態で実施し、その評価については、試験、発表、態度、ポートフォリオなどにより評価する。

各科目の到達目標・授業方法・授業計画・評価方法をWebシラバスにより公開し、学修の成果は学則に定める成績評価基準により評価する。

各学科と高専 MCC (モデルコアカリキュラム)、学位授与機構専攻の区分との関係

学科名	学科の教育目的	高専 MCC	学位授与機構専攻の区分
機械工学科	ものづくりを通して社会の発展に貢献できる機械技術を有する人材の育成	機械系分野	機械工学
電気情報工学科	絶えず進化を続ける科学技術に対応できる電気情報技術を有する人材の育成	電気・電子系分野	電気電子工学
環境都市工学科	豊かで快適な自然環境や社会基盤を整備する技術を有する人材の育成	建設系分野	土木工学
建築学科	安全で快適な生活空間を創造する技術を有する人材の育成	建築系分野	建築学

「地域から世界へ、人類の幸福に貢献する人材であれ」
Be human resources who contribute to human well-being locally and globally

～豊かな人間性と確かな技術力を持ち、人類の福祉と平和、
国際社会の持続的発展に貢献するために学び続ける人材の育成～

Foster highly skilled human resources with a rich sense of humanity, who continually engage in learning to contribute to the welfare and peace of humankind and the sustainable development of the global community.

本校は、かつての軍港「呉」にある高等専門学校として、人類の福祉と平和、国際社会の持続的発展へ貢献できる人材を育成することを重視し、変化を恐れない「柔軟性」と「創造性」、確かな「技術力」と「実行力」を持ち、自ら学び続ける人材を育成することを目指す

As a school of engineering in the former military port city of Kure, the National Institute of Technology (KOSEN), Kure College aims to develop human resources who are flexible, creative and unafraid of change, who have high technical skills and can "get things done," and who continually engage in learning to contribute to the welfare and peace of humankind and the sustainable development of the global community.

各学科の教育目的

Purpose of each course

機械工学科
Mechanical Engineering

ものづくりを通して社会の発展に貢献できる機械技術を有する人材の育成

Foster human resources equipped with the mechanical technologies that can contribute to the development of society through manufacturing

電気情報工学科
Electrical Engineering and Information Science

絶え間なく進化する科学技術に対応できる電気情報技術を有する人材の育成

Foster human resources equipped with the electronic information technologies that can respond to an ever-evolving science and technology

環境都市工学科
Civil and Environmental Engineering

豊かで快適な自然環境や社会基盤を整備する技術を有する人材の育成

Foster human resources equipped with the technologies to maintain a rich and comfortable natural environment and social infrastructure

建築学科
Architecture and Structural Engineering

安全で快適な生活空間を創造する技術を有する人材の育成

Foster human resources equipped with the technologies to create safe and comfortable living spaces

アドミッション・ポリシー（1年次入学、3年次編入学、4年次編入学で共通）

Admission Policy

求める学生像

呉高専は、次のような人を待っています。

(H1) 確かな基礎学力を持ち、ものづくりに興味のある人

(H2) 主体的かつ積極的に行動できる人

(H3) コミュニケーション力のある人

求める学生像の3項目、(H1)、(H2)、(H3)は、それぞれ学力の3要素（1）知識・技能、（2）思考力・判断力・表現力等の能力、（3）主体性を持つて多様な人々と協働して学ぶ態度に対応しています。

入学者受け入れの基本方針

第1学年入学

中学校を卒業した者を対象に、推薦選抜（一般推薦）、推薦選抜（特別推薦）、学力選抜、帰国生徒特別選抜の4つの方法により、入学者を選抜します。

（1）推薦選抜（一般推薦） 入学意欲と適性、積極性、コミュニケーション能力などについて、総合的に評価します。配点は、調査書270点、面接135点の合計405点満点とします

（2）推薦選抜（特別推薦） 選抜は、面接によって行います。学業、活動実績と活動内容を確認し、入学意欲、志望学科への適性などについて、総合的に評価します。

（3）学力選抜 学力検査と調査書の総合判定によって行います。配点は、学力検査500点（100点×5教科）、調査書405点、合計905点満点とします。

（4）帰国生徒特別選抜 選抜は、学力検査と面接の総合判定によって行います。配点は、学力検査400点（100点×4教科）、面接100点の合計500点満点とします。ただし、日本人学校及び国内の中学校の成績等について、本校所定の調査書が提出された場合の選抜は、学力検査、面接及び調査書の総合判定によって行います。

配点は、学力検査400点（100点×4教科）、面接100点、調査書405点、合計905点満点とします。

第3学年編入学（外国人対象）

外国の高等学校を卒業した外国人を対象として、第3学年編入学の選抜を行います。編入学の選抜は、出願書類、日本留学試験の成績、TOEFL、TOEIC L&R または IELTS の成績および面接の評価を総合して行います。

第4学年編入学

高等学校を卒業した者を対象として、第4学年編入学の選抜を行います。選抜は、調査書（150点）、試験（150点）及び面接の総合判定によって行います。

入学者選抜における評価項目

アドミッション・ポリシー	(H1) 確かな基礎学力を持ち、ものづくりに興味のある人	(H2) 主体的かつ積極的に行動できる人	(H3) コミュニケーション力のある人
学力の3要素	(1) 知識・技能	(2) 思考力・判断力・表現力等の能力	(3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
推薦選抜（一般推薦）	調査書	面接	面接
推薦選抜（特別推薦）	調査書 (中学校3年間9教科の学業成績の総計が5段階評価で114以上)	面接、推薦書 (課外活動等における優れた成績を収めた者)	面接
学力選抜	学力検査（5科目）調査書		
帰国生徒特別選抜	学力検査（4科目）		面接
第3学年編入学（外国人対象）	日本留学試験、英語外部試験	面接	面接
第4学年編入学	試験（筆記又は口述試問）	面接	面接

教育理念、教育目的、学習・教育目標、3つのポリシー（専攻科）

Educational philosophy, Purpose of education, Learning/Educational goals, 3policies(Advanced Course)

教育理念

Educational philosophy

「開発研究とものづくりの現場を結ぶ人材であれ」

Be human resources that connect research and development with manufacturing sites.

～ものづくり現場を理解し企画開発力を持った「中核技術者」の育成～

Foster "core engineers" who understand manufacturing sites and have planning and development skills.

本校は、東洋一の技術集積のあった「呉」にある高等専門学校として、15歳からの5年間または7年間の一貫教育、実験・実習を重視した教育活動により、理論と技能を結びつける技術者を育成することを旨とする。

As the foremost school of engineering in East Asia, the National Institute of Technology Kure College aims to develop engineers who can combine theory and skill through five to seven years of integrated education starting at age 15, providing educational activities with an emphasis on experiments and practical training.

専攻科

Advanced Course

教育目的

Purpose of education

豊かな人間性と国際性を持ち、学修してきた専門分野を深めながら、複合的な素養を身に付け、多様性を涵養し、プロジェクトをデザインできる人材を育成する。

Foster human resources rich in humanity and internationality, who can acquire comprehensive knowledge, cultivate diversity, and design projects while conducting in-depth study in their own specialized fields

学習・教育目標

Learning and Educational Goals

(SA) 豊かな教養と倫理観により、国際的に行動できる能力の修得

Learn to act on an international level through a comprehensive education and ethics

(SB) 工学に関連する応用能力の修得

Learn to apply engineering skills

(SC) 専門分野の課題を解決できる能力の修得

Learn to solve issues in specialized fields

(SD) 社会のニーズを捉え、異分野と協働して課題を解決できる能力の修得

Learn to understand social needs, and solve issues in collaboration with different fields

ディプロマ・ポリシー Diploma Policy

※ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー中の(SA)～(SD)は、学習・教育目標とそれぞれ対応しています。

専攻科課程の修了認定方針

学習・教育目標に沿って設けた授業科目を履修し、以下の項目にあげる知識・能力を身に付け、62単位以上を修得するとともに、大学改革支援・学位授与機構の審査に合格し、学士（工学）を取得する。

専攻科課程で養成する人材像

(SA) 技術者として豊かな教養と倫理観、自らの考えを的確に伝えられるコミュニケーション力を身に付けている

・教養科目を修得する

(SB) 専門分野に活用できる工学に関する応用能力を身に付けている

・専門基礎科目を修得する

(SC) 実務や研究に活用できる専門分野に関する応用能力を身に付けている

・専門科目、応用研究及び特別研究を修得するとともに、研究成果を学協会で発表する

(SD) 修得した知識や技術を活用し、異分野と協働して課題を解決できる能力を身に付けている

・プロジェクトデザイン系科目及びインターンシップを修得する

専攻科課程では、「専攻科の学習・教育目標 (SA) 豊かな教養と倫理観により、国際的に行動できる能力の修得、(SB) 工学に関連する応用能力の修得、(SC) 専門分野の課題を解決できる能力の修得、(SD) 社会のニーズを捉え、異分野と協働して課題を解決できる能力の修得」の各目標に対応した科目の履修により、62単位以上を修得するとともに、大学改革支援・学位授与機構の審査に合格した学生に専攻科修了を認めます。

上記単位の修得により、学則に示す専攻科の教育目的「豊かな人間性と国際性を持ち、学修してきた専門分野を深めながら、複合的な素養を身に付け、多様性を涵養し、プロジェクトをデザインできる人材を育成する。」を実現します。

具体的な養成する人材像として「(SA) 技術者として豊かな教養と倫理観、自らの考えを的確に伝えられるコミュニケーション力を身に付けている、(SB) 専門分野に活用できる工学に関する応用能力を身に付けている、(SC) 実務や研究に活用できる専門分野に関する応用能力を身に付けている、(SD) 修得した知識や技術を活用し、異分野と協働して課題を解決できる能力を身に付けている」を想定しています。

カリキュラム・ポリシー

Curriculum Policy

本科で修得した主専攻となる専門分野の知識や技術を深めるとともに、他の専門分野の知識や技術を取り入れながら、異分野と協働してプロジェクトをデザインするための能力を身に付けることができるカリキュラムとする。なお、評価はシラバスに示す評価割合に従って行い、60点以上を合格とする。

(SA) 豊かな教養と倫理観により、国際的に行動できる能力を修得するために、人文・社会科学系の教養科目を設ける

(SB) 工学に関連する応用能力を修得するために、専門基礎科目を設ける

(SC) 専門分野の課題を解決できる能力を修得するために、専門科目を設ける

(SD) 社会のニーズを捉え、異分野と協働して課題を解決できる能力を修得するために、総合的なプロジェクトのデザインを実践する科目を設ける

専攻科の教育目的「本科の教育目的「豊かな教養と国際性を持ち、それぞれの専門分野において実験・実習・演習を重視した教育により工学に関する知識や技術を身に付け、各分野の課題に対応できる人材を育成する。」を実現するため、本科で修得した主専攻となる専門分野の知識や技術を深めるとともに、他の専門分野の知識や技術を取り入れながら、異分野と協働してプロジェクトをデザインするための能力を身に付けることができるカリキュラムとする。

全ての授業は、カリキュラム・ポリシーに基づいて、講義、演習、実験・実習など多様な形態で実施し、その評価については、試験、発表、態度、ポートフォリオなどにより評価する。

各科目の到達目標・授業方法・授業計画・評価方法をWebシラバスにより公開し、学修の成果は学則に定める成績評価基準により評価する。

各学科と高専MCC（モデルコアカリキュラム）、学位授与機構専攻の区分との関係

専攻名	系	基礎となる学科	高専MCC	学位授与機構専攻の区分
プロジェクトデザイン工学専攻	機械系	機械工学科	機械系分野	機械工学
	電気情報系	電気情報工学科	電気・電子系分野	電気電子工学
	環境都市系	環境都市工学科	建設系分野	土木工学
	建築系	建築学科	建築系分野	建築学

「地域から世界へ、人類の幸福に貢献する人材であれ」
Be human resources who contribute to human well-being locally and globally

～豊かな人間性と確かな技術力を持ち、人類の福祉と平和、
国際社会の持続的発展に貢献するために学び続ける人材の育成～

Foster highly skilled human resources with a rich sense of humanity, who continually engage in learning to contribute to the welfare and peace of humankind and the sustainable development of the global community.

本校は、かつての軍港「呉」にある高等専門学校として、人類の福祉と平和、国際社会の持続的発展へ貢献できる人材を育成することを重視し、変化を恐れない「柔軟性」と「創造性」、確かな「技術力」と「実行力」を持ち、自ら学び続ける人材を育成することを目指す

As a school of engineering in the former military port city of Kure, the National Institute of Technology (KOSEN), Kure College aims to develop human resources who are flexible, creative and unafraid of change, who have high technical skills and can "get things done," and who continually engage in learning to contribute to the welfare and peace of humankind and the sustainable development of the global community.

専攻の教育目的

Purpose of Advanced Course

プロジェクトデザイン工学専攻

Project Design Engineering Course

学修してきた専門分野を深めながら、複合的な素養を身に付け、多様性を涵養し、プロジェクトをデザインできる人材の育成

Foster human resources who can acquire comprehensive knowledge, cultivate diversity, and design projects while conducting in-depth study in their own specialized fields.

アドミッション・ポリシー

Admission Policy

求める学生像

呉高専専攻科は、次のような人を待っています。

- (S1) 技術者として必要な教養とコミュニケーション力を身に付けている人
- (S2) 専門分野に関する知識と技術を持ち、ものづくりの技術を身に付けている人
- (S3) 課題を解決するために、主体的かつ積極的に行動できる人

求める人材像の3項目のうち、(S1)は学力の3要素(3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、(S2)は(1)知識・技能、(S3)は(2)思考力・判断力・表現力等の能力に対応しています。

入学者受け入れの基本方針

高等専門学校を卒業した者を対象に、推薦による選抜、学力による選抜及び社会人特別選抜の3つの方法により、入学者を選抜します。

- (1) 推薦による選抜 入学者の選抜は、在学又は出身の高等専門学校長から提出された推薦書、調査書（200点満点）及び面接（専門科目に関する口頭試問を含む。200点満点）の結果を総合して行います。
- (2) 学力による選抜 入学者の選抜は、学力検査（400点満点）、調査書（200点満点）及び面接の結果を総合して行います。
- (3) 社会人特別選抜 入学者の選抜は、企業等から提出された推薦書、調査書及び面接（専門科目に関する口頭試問を含む。）の結果を総合して行います。

入学者選抜における評価項目

アドミッション・ポリシー	(S1) 技術者として必要な教養とコミュニケーション力を身に付けている人	(S2) 専門分野に関する知識と技術を持ち、ものづくりの技術を身に付けている人	(S3) 課題を解決するために、主体的かつ積極的に行動できる人
学力の3要素	(3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	(1) 知識・技能	(2) 思考力・判断力・表現力等の能力
推薦による選抜	面接	調査書、面接	面接
学力による選抜	面接	学力検査	面接
社会人特別選抜	面接	調査書	面接

Realize Your Dream・学生の受賞歴 Realize Your Dream/Awarded Students

Realize Your Dream
君の未来を共に創る



2025 年 12 月 14 日 (日)
GCON2025 に参加しました！

私たち MECA 女養成プロジェクトは、12 月 14 日に開催された第 4 回高専 GIRLS SDGs × Technology Contest に参加しました。本プロジェクトでは、「技術者におけるジェンダーフリー社会の推進」をテーマに、約 11 年間にわたる活動の歩みを踏まえながら、男女平等な社会参画を実現するための環境づくりに向けた提案を行いました。

午前のポスターセッションでは、これまでの活動内容について、写真や資料を用いて来場者の方々に分かりやすく説明しました。午後の発表では、活動の中でも特に在校生サポートに焦点を当て、これまでの成果と今後の展開について報告しました。その結果、本プロジェクトの取り組みが評価され、「三菱電機エンジニアリング賞」を受賞することができました。

今後も、女性技術者がより一層活躍できる社会の実現を目指し、活動の幅を広げながら継続的に発展させていきます。



2026 年 1 月 25 日 (日)
第 19 回全国高専英語プレゼンテーションコンテスト シングル部門第 3 位

1 月 24 日、25 日に東京・国立オリンピックセンターで第 19 回全国高専英語プレコンが開催され、シングル部門に出場しました。

私は、自分のふるさとで、過疎化が進んでいる秋田県を例に挙げ、雪国体験 IW を立ち上げ活動していることを含めながら、ふるさとへの愛を持ち小さな行動を起こすことの大切さを伝えるプレゼンを行いました。練習の際に一番力を入れたのは、プレゼンの最初の部分で聴衆を惹きつけられるような話し方をするということです。

当日は他の参加者のレベルの高い発表に圧倒されとても緊張しましたが、笑顔で堂々と発表し、質疑応答にも対応することができました。その結果、全国 3 位という成績を収めることができました。

今後も自身の英語力、プレゼン能力、コミュニケーション能力の向上に努めていきたいと思います。最後に、昨年の夏から指導して下さった先生方に深く御礼申し上げます。



2026 年 3 月 11 日 (水)
高専生を対象としたワイヤレス技術のコンテスト「WiCON2025」本線大会にて採択課題が「優秀賞」を受賞

標記大会が 3 月 11 日 (水) 東京大学伊藤謝恩ホールにて開催されました。研究室からはチームリーダーの専攻科 1 年和泉さんほか電気情報工学科 5 年中田さん、平山さん、森山さんの 4 名が参加、プレゼンテーション両審査の結果、優秀賞を受賞しました。

採択課題は道路陥没や土流災害の予知を目的とした地中流水を電磁波を利用して非接触で検知しようとするもので、本校電気情報工学科で学んだ「伝送回路理論」や「電磁界理論」の技術を駆使して紆余曲折しつつ、地下水検知システムを理論的に考案、この技術を実験室レベルで成功させることができました。

協賛企業の皆さんからは、「低価格かつ簡便な方法で地価の異物が探索できる画期的な技術」と称賛され、これがこの度の優秀賞につながったものと思われます。

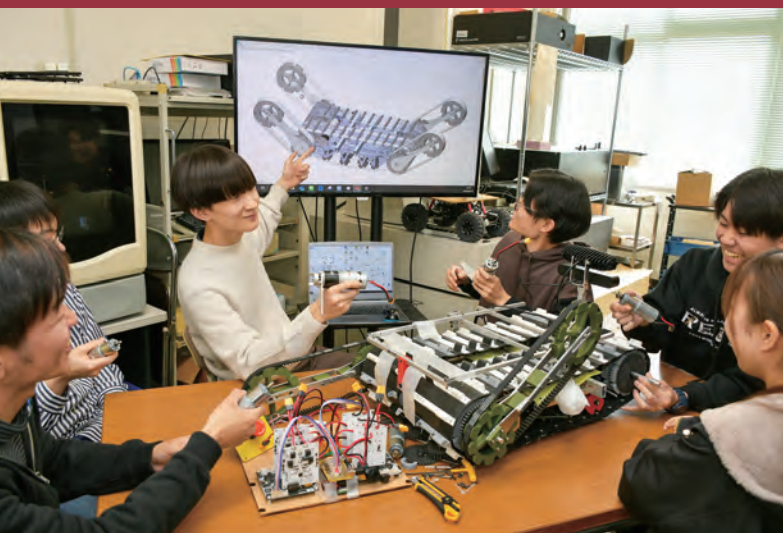
採択されてから 9 か月、学生たちの労をねぎらうとともに WiCON 関係者の皆様に衷心より深謝申し上げます。
(先端電磁波システム研究室)



Realize Your Dream 学生の受賞歴	
【2025 年度】	
4 月	建築学科学生が宅地建物取引士に合格
5 月	IEEE International Symposium on Radio-Frequency Intergration Technology に採択
6 月	「高専ワイヤレステックコンテスト WiCON2025」に採択 (2 件)
7 月	呉地域 OCN 会議「学生の夢実現プロジェクト」に採択：A 部門 1 件
10 月	アイデア対決・全国高専ロボコン 2025 中国地区大会：アイデア賞
11 月	第 37 回呉・やすうら月の西行祭全国大会：教育委員会教育委員長賞、呉市安浦町観光協会会長賞
12 月	第 4 回高専 GIRLS SDGs × Technology Contest (高専 GCON2025)：三菱電機エンジニアリング賞
8 月～12 月	第 60 回全国高等専門学校体育大会 出場：陸上競技部・柔道部・テニス部・サッカー部・ソフトテニス部・水泳部・ハンドボール部 成績 (入賞)：陸上部 (男子 800m 3 位 / 男子 4 × 100m 3 位 / 女子 100m 1 位 / 女子走高跳 3 位) 柔道部 (女子 63kg 級 3 位) テニス部 (女子団体・中国地区合同チーム 1 位) サッカー部 (3 位) ソフトテニス部 (男子団体 3 位) 水泳部 (男子バタフライ 100m 1 位 / 男子バタフライ 200m 1 位) (女子自由形 50m 1 位 / 女子自由形 100m 1 位 / 女子背泳ぎ 100m 2 位 / 女子フリーリレー 4 × 50m 2 位 / 女子メドレーリレー 4 × 50m 2 位)
1 月	第 18 回全国高専英語プレゼンテーションコンテスト：シングル部門 3 位
1 月	秋田県立大学 全国高校生建築提案コンテスト 2025：奨励賞
2 月	電気学会：技術委員会奨励賞
3 月	高専ワイヤレステックコンテスト WiCON2025：優秀賞

機械工学科

Department of Mechanical Engineering



機械工学科の教育目的 Purpose of Education

ものづくりを通して社会の発展に貢献できる機械技術を有する人材の育成

在学中に取得を推奨する資格 Recommended qualifications while in school

機械設計技術者（3級）／技術士一次試験

主な実験・実習設備 Main experimental and training facilities

走査型電子顕微鏡／金属顕微鏡／硬さ試験機／万能材料試験機／ねじり試験機／計装化シャルピー衝撃試験機／表面粗さ測定器／四球式摩擦摩耗試験機／熱交換器実験装置／自然対流熱伝達実験装置／水力学実験装置／レイノルズ実験装置／風洞実験装置／CNC 旋盤／マシニングセンタ／3D プリンタ／画像処理システム／多関節ロボット／筋電計／三次元 CAD・CAM 装置



デジタルエンジニアリングによる衝突解析



3Dプリンタによる造形



玉入れロボット大会

機械工学科の紹介 Introduction

私たちの身の回りには、自動車、船舶、航空機などの輸送機械、パソコン・テレビなどの家電製品、製鉄所や発電所などの大型製造設備など、さまざまな機械があふれています。機械工学は、金属やプラスチックなどの材料に命を吹き込み、人々に役立つものを作り出すことにより、人類の夢を現実のものへと導いてきました。最近では、電気自動車や自動運転技術の適用も進み、時速 500km で走行するリニア新幹線の実用化も目前に迫っています。また、人間のように動くヒューマノイド型ロボット、人体の中を動けるような小さな機械（マイクロマシン）、ロケット技術など宇宙開発に関する研究・開発も進められており、その中心的役割を担っているのが機械工学です。さらに、CO₂ による地球温暖化、高齢化社会、地震や台風などの大規模な自然災害などさまざまな問題を解決するために、機械工学の知識・技術を発展・応用させることが期待されています。

機械工学科は「ものづくりを通して社会の発展に貢献できる人」を育成するため、機械の材料・強度・熱・流体エネルギー、制御、加工などを学び、最新の知識と技術を兼ね備えた有能な技術者を産業界に送り出すよう心がけています。卒業生は、輸送機器や産業機械系の企業は言うまでもなく、素材系、医療系、食品系、インフラ系などあらゆる分野の企業で活躍しています。



機械工学科のカリキュラムの特徴 Characteristics of curriculum

機械工学科のカリキュラムは材料系・エネルギー系・メカトロニクス系・機械設計系科目で構成されており、あらゆる産業分野の設計及び製作に必要な基礎的科目を設けています。

演習科目としては、低学年では二次元 CAD による「機械設計製図」、CNC 旋盤やマシニングセンタによる「工作実習」、小型ロボットを制御する「ロボティクス基礎」など、機械製作・制御の基礎を学びます。高学年では、三次元 CAD による「機械設計製図」や機械制御や計測法を学ぶ「工学実験」が設けられています。また4・5年次の「工学総合演習」では、CAM/CAE・3D プリンター・材料実験などの演習で得た知識を用いて、学生自らが高い次元での設計を行い、加工・組立・改良までの体験的な学習ができるように配慮されています。

講義科目としては、機械工学の基本科目である「材料力学」「熱工学」「流体工学」「機械力学」をはじめ、機械設計の基礎となる材料、機械要素設計、機構学、加工学、制御工学、機械設計製図を学び、5年次の「卒業研究」では、実験的なアプローチに加え、近年著しく発展している CAD/CAM/CAE を用いた数値解析的なアプローチからも取り組むことにより、先端的な専門知識も習得しながら、自主的に課題を見出し、それを解決する能力を身につけるようにしています。

※数字は単位数 青字は選択科目 (2019 年度入学生から適用)

1 年	2 年	3 年	4 年	5 年
機械設計概論 1	情報処理Ⅰ 1	応用数学 1	工学総合演習Ⅰ 2	工学総合演習Ⅱ 2
機械設計製図Ⅰ 2	情報処理Ⅱ 1	材料力学Ⅰ 1	確率統計 2	卒業研究 10
工作実習Ⅰ 2	材料学Ⅰ 1	材料力学Ⅱ 1	情報処理Ⅲ 2	機械力学Ⅰ 2
	機構学 1	加工学Ⅰ 1	材料力学Ⅲ 1	機械力学Ⅱ 2
	ロボティクス基礎 1	加工学Ⅱ 1	材料力学Ⅳ 1	加工学Ⅲ 1
	機械設計製図Ⅱ 2	材料学Ⅱ 1	材料学Ⅲ 2	熱工学Ⅲ 1
	工作実習Ⅱ 2	機械要素設計Ⅰ 1	熱工学Ⅰ 1	熱機関 2
		CAM/CAE 1	熱工学Ⅱ 1	流体工学Ⅲ 1
		論理回路 1	流体工学Ⅰ 1	流体工学Ⅳ 1
		電気工学 1	流体工学Ⅱ 1	先端工学 2
		機械設計製図Ⅲ 4	機械要素設計Ⅱ 2	経営工学 2
		工作実習Ⅲ 2	機械設計特論 2	材料力学特論 1
			制御工学 2	材料学特論 2
			計測工学 2	トライボロジー 2
			メカトロニクス 2	システム工学 2
			機械総合演習 2	
			工作実習Ⅳ 1	
			工学実験 2	
			地域実践演習 4	
			校外実習 1	



機械設計製図



三次元変形解析



ロボコン中国地区大会



メタバース空間の創成



卒業研究 自動車の風洞実験



製作発表会

電気情報工学科

Department of Electrical Engineering and Information Science



電気情報工学科の教育目的 Purpose of Education

絶え間なく進化する科学技術に対応できる電気情報技術を有する人材の育成

在学中に取得を推奨する資格 Recommended qualifications while in school

電気主任技術者（2種、3種）／応用情報技術者／基本情報技術者／
陸上特殊無線技士（第1級、第2級）

主な実験・実習設備 Main experimental and training facilities

情報処理演習室パソコン 50 台／NI-ELVIS／FPGA 教育実習システム／高精度多層回路基板自動作成装置／SMD（表面実装部品）
高精度実装システム／超高周波回路解析装置／超高周波信号解析装置／超高周波電力計／超高速オシロスコープ／高安定多機能信号源／
ファブリペロ光波長計測装置／光波帯信号解析装置／ロボット制御実験装置／シーケンストレーニングボード／インバータ実習装置／
パワエレ実験システム／高温焼結装置／ガス置換焼結装置／サーモグラフィカメラ



MATLAB / Simulink 実験



ものづくり実習



メタバース卒業研究発表会

電気情報工学科の紹介 Introduction

医薬品開発や化学プラント製造あるいは食の安全など、一見関係なさそうな分野まで電気・電子技術はいろいろな形で関わっています。電気情報工学科では、将来どのような職業に就いても対応できるような技術者の育成を行っています。卒業後は、鉄鋼、自動車、電機などの生産技術分野、電力・ガス・水道・鉄道・通信設備などの保全技術分野、ネットワークやシステム開発などのIT技術分野など、ハードウェア・ソフトウェア両面にわたる幅広い分野への道が開かれています。

本学科の目指す教育は、研究開発とものづくり現場を結ぶことができる人材の育成と、ここで学べて良かった、面白かったという満足度が得られる授業や実験・実習です。そのために「マイコンを核としたデジタル技術によるものづくり実践」に力を入れて取り組み、1年次から5年次まで各学年ごとの実験・実習あるいは卒業研究を通じて「マイコンによるものづくり」を行います。さらに電子回路シミュレータを用いた「アクティブラーニングの実践」にも力を入れています。放課後希望者参加によるアイデア発明コンテストへの挑戦も行っています。



電気情報工学科のカリキュラムの特徴 Characteristics of curriculum

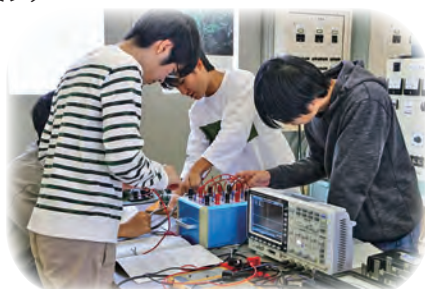
電気情報工学科のカリキュラムは情報系・通信系・計測制御系・電気エネルギー系科目で構成されています。低学年では基礎的な専門科目の学習に重点をおき、将来どんな産業界に身を置いても対応できるような技術者の育成を行っています。4年次からはエネルギー制御コースと情報通信コースに分かれ、それぞれの分野の専門応用科目を修得します。演習・実習では ICT 機器を多く活用します。たとえば電子回路シミュレータを2年次から使い始め、3年次で OP アンプ回路、デジタル論理回路のシミュレーションを行います。4・5年次では電子回路やパワーエレクトロニクスの授業でアクティブラーニングを実践します。また、2年次から数値計算ソフトウェアの MATLAB を使い、2D・3D グラフのプロットやスクリプトの作成を行い、4・5年次では制御工学、信号処理のシミュレーションに用い、卒業研究ではモデルベースデザイン開発を実践します。本学科独自の e - ラーニング教材による学習も行います。

※数字は単位数 青字は選択科目 (2019 年度入学生から適用)

1 年	2 年	3 年	4 年	5 年
電気情報概論 1	電気数学Ⅰ 1	電気数学Ⅱ 1	工学総合演習Ⅰ 2	工学総合演習Ⅱ 2
電気基礎Ⅰ 1	電気回路Ⅰ 1	電気数学Ⅲ 1	応用数学 2	卒業研究 10
電気基礎Ⅱ 1	電気回路Ⅱ 1	電気回路Ⅲ 1	電気数学Ⅳ 2	応用電子回路 2
情報処理Ⅰ 1	電気・電子計測Ⅰ 1	電気回路Ⅳ 1	電気回路Ⅴ 1	パワーエレクトロニクス 2
ものづくり実習 1	情報処理Ⅱ 1	電気電子材料 1	電気回路Ⅵ 1	エネルギー制御コース専門科目
	情報処理Ⅲ 1	電子工学Ⅰ 1	電子回路Ⅰ 2	エネルギー変換工学Ⅱ 2
	電気情報工学実験Ⅰ 3	電気磁気学Ⅰ 1	電子回路Ⅱ 2	エネルギー変換工学Ⅲ 2
		電気磁気学Ⅱ 1	電子工学Ⅱ 1	エネルギーネットワーク工学Ⅰ 1
		電気・電子計測Ⅱ 1	電気磁気学Ⅲ 1	エネルギーネットワーク工学Ⅱ 2
		情報処理Ⅳ 1	電気磁気学Ⅳ 1	エネルギー発生工学Ⅰ 1
		情報処理Ⅴ 1	制御工学Ⅰ 2	エネルギー発生工学Ⅱ 1
		シーケンス制御 1	制御工学Ⅱ 2	通信工学Ⅱ 2
		電気情報工学実験Ⅱ 4	地域実践演習 4	電磁界理論 2
			校外実習 1	アルゴリズム 2
			IC 設計工学 1	信号処理 1
			エネルギー制御コース専門科目	情報ネットワーク 1
			エネルギー制御工学実験 4	情報通信コース専門科目
			エネルギー変換工学Ⅰ 2	通信工学Ⅱ 2
			通信工学Ⅰ 2	電磁界理論 2
			情報理論 1	アルゴリズム 2
			情報通信コース専門科目	信号処理 1
			情報通信工学実験 4	情報ネットワーク 1
			通信工学Ⅰ 2	エネルギー変換工学Ⅱ 2
			情報理論 1	エネルギー変換工学Ⅲ 2
			エネルギー変換工学Ⅰ 2	エネルギーネットワーク工学Ⅰ 1
				エネルギーネットワーク工学Ⅱ 2
				エネルギー発生工学Ⅰ 1
				エネルギー発生工学Ⅱ 1



Node-RED プログラミング



パワーエレクトロニクス実験



3D 公開講座



シーケンス制御演習



環境都市工学科

Department of Civil and Environmental Engineering



環境都市工学科の教育目的 Purpose of Education

豊かで快適な自然環境や社会基盤を整備する技術を有する人材の育成

在学中に取得を推奨する資格 Recommended qualifications while in school

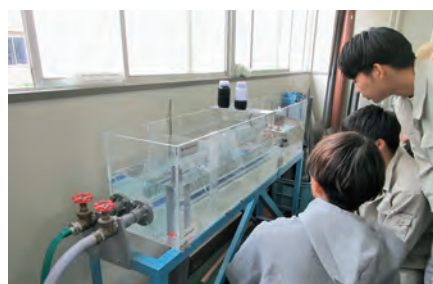
技術士一次試験／土木学会土木技術検定／2級土木施工管理技術第1次検定（2級土木施工管理技士補）／公害防止管理者（主任、第1種～第4種）

主な実験・実習設備 Main experimental and training facilities

アムスラー万能試験機(500kN)／加圧試験機(1000 kN)／貝殻破砕機／傾斜可変水路・固定水路／レイノルズ数測定装置／造波・波浪実験装置／空圧式圧密試験機／飽和・不飽和三軸圧縮試験機／空圧式振動三軸試験機／CBR試験機／落射蛍光顕微鏡／水質分析装置／化学・生物発光測定機／DNA・タンパク質解析装置／セオドライト／オートレベル／トータルステーション



実験実習Ⅱ（測量実習）



実験実習Ⅳ（水理実験）

環境都市工学科の紹介 Introduction

環境都市工学とは、自然とともに生きながら、人々が心豊かに快適な生活を送るのに必要な社会基盤を整備するためになくてはならない「市民のための工学」です。環境都市工学科では、環境問題に対応できる幅広い視野を備えた高度な知識と技術を有し、社会のために役立つ技術者の育成を目標としています。

自らのアイデアを地域政策や国の事業などとして具体化させることのできる「公務員」になりたい人、地図に残るような大規模な構造物を設計し、つくることのできる「建設技術者」になりたい人、大地震や台風などによる災害に強い国土やまちをつくる「防災技術者」になりたい人、さまざまな環境問題を解決することができる「環境技術者」になりたい人、都市の計画や設計ができる「都市計画技術者」になりたい人にとって最適な学科です。

卒業後は、国公立大学3年次や専攻科への進学の他に、公務員、大手ゼネコン、建設コンサルタント、道路・鉄道・電気・ガスなどの公益企業を中心とする土木分野に加えて、環境・生産管理の業界へも就職しています。このように環境都市工学科の卒業生は、幅広い分野で、国土と社会、生活環境の担い手として活躍しています。



環境都市工学科のカリキュラムの特徴 Characteristics of curriculum

環境都市工学科のカリキュラムは材料構造系・地盤施工系・河川環境系・計画系科目で構成されており、環境との調和を図った社会基盤施設の計画・設計から建設・管理にいたるまでの専門知識と最新の技術を学ぶことができます。社会基盤施設である橋、トンネル、道路、鉄道、上下水道、ダム等を建設する技術に加え、水質、土壌、大気、微生物、都市計画、防災など幅広い専門知識と、実務を意識した実習・演習などでその活用方法を学び、地域社会に貢献できる人材を育成します。

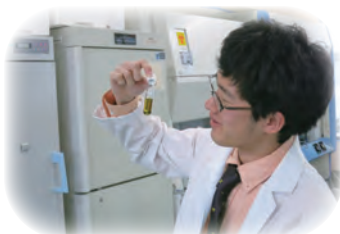
1・2年次では専門基礎として測量や建設材料、環境工学、情報処理等を学び、3年次からは専門分野のコアとなる構造力学、土質力学、水理学、水環境工学、都市計画・交通計画などを学びます。4年次以降は、それらの専門科目をさらに深く学びながら、鋼構造、河川工学、社会基盤計画学、防災工学、遺伝子工学等の応用的科目に展開していきます。各学年で実習・演習科目を効果的に配置し、効率的に専門知識・技術が体得できるよう構成されています。4年次後期からは、工学総合演習Ⅰ・Ⅱでそれまでに身に付けた専門知識・技術を活かし創造的に課題に対応できる能力を育み、5年次の卒業研究で社会のニーズを捉えた最先端の技術開発に取り組みます。なお、4年次から様々な選択科目が用意され、学生は自分の希望する進路に応じた能力を伸ばすことができます。

※数字は単位数 青字は選択科目 (2019年度入学生から適用)

1年	2年	3年	4年	5年
測量Ⅰ 1	実験実習Ⅱ 4	実験実習Ⅲ 4	実験実習Ⅳ 4	設計製図Ⅱ 1
測量Ⅱ 1	情報処理Ⅰ 1	土木CAD 1	設計製図Ⅰ 1	工学総合演習Ⅱ 2
実験実習Ⅰ 2	コンクリート工学Ⅰ 1	建設施工Ⅰ 1	工学総合演習Ⅰ 2	卒業研究 10
建設材料 1	コンクリート工学Ⅱ 1	交通計画 1	応用数学 2	社会基盤計画学 2
	自然生態学 1	都市計画 1	建設施工Ⅱ 1	鋼構造Ⅱ 1
	環境工学 1	構造力学Ⅰ 1	交通システム工学 1	防災工学Ⅰ 2
		構造力学Ⅱ 1	コンクリート構造Ⅰ 1	遺伝子工学概論 2
		水理学Ⅰ 1	コンクリート構造Ⅱ 1	情報処理Ⅱ 1
		水理学Ⅱ 1	鋼構造Ⅰ 1	測量Ⅲ 2
		土質力学Ⅰ 1	構造力学Ⅲ 2	河川工学Ⅱ 2
		土質力学Ⅱ 1	構造力学Ⅳ 2	防災工学Ⅱ 2
		水環境工学Ⅰ 1	水理学Ⅲ 2	環境生物学 2
		水環境工学Ⅱ 1	水理学Ⅳ 2	環境分析化学 2
			河川工学Ⅰ 1	環境都市工学演習Ⅰ 1
			土質力学Ⅲ 2	環境都市工学演習Ⅱ 1
			土質力学Ⅳ 2	
			環境保全 2	
			地域実践演習 4	
			校外実習 1	



実験実習Ⅲ（土質実験）



卒業研究（衛生工学研究）



工事現場見学

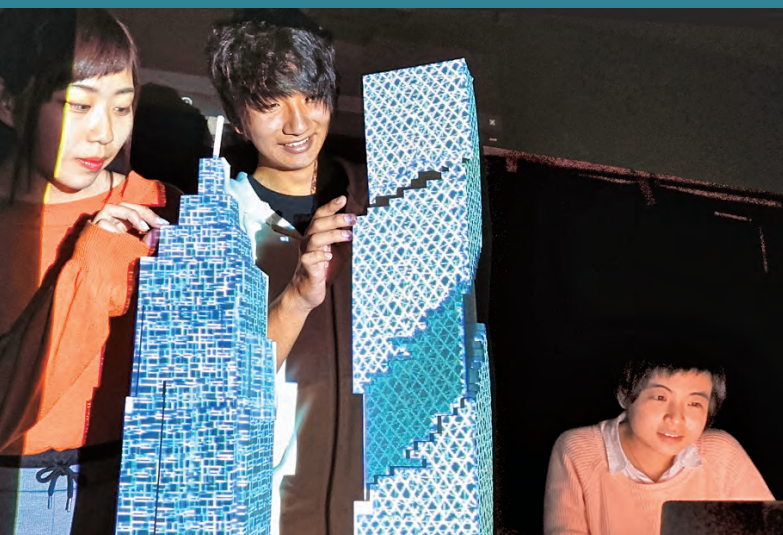


工学総合演習Ⅱ



建築学科

Department of Architecture and Structural Engineering



建築学科の教育目的 Purpose of Education

安全で快適な生活空間を創造する技術を有する人材の育成

在学中に取得を推奨する資格 Recommended qualifications while in school

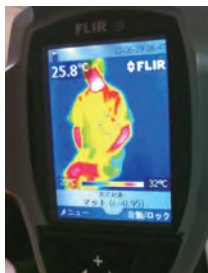
宅地建物取引士／福祉住環境コーディネーター（２級）／
建築施工管理技術検定（２級 第一次検定合格）／インテリアプランナー（学科試験合格）
※卒業後に建築士学科試験（１級・２級）を受験可能

主な実験・実習設備 Main experimental and training facilities

３Ｄプリンタ（UV硬化樹脂式）／レーザー加工機／サーマルマネキン／人工気候室／サーモグラフィ／材料強度試験装置／
構造物試験及び測定装置／材料試験機器／データ収録・解析装置／超仕上げかな盤／昇降盤／帯のこ盤／音響測定装置／
温熱環境測定装置／空気状態測定装置／光学関係測定装置／設計製図機器／デザイン及び
グラフィックのためのコンピュータシステム／各種建築模型／試験体製作及び
実験装置製作機器／測量実習機器／呼気代謝分析装置



サーマルマネキン



サーモグラフィ



レーザー加工機



3Dプリンタ

建築学科の紹介 Introduction

建築学科では、現代社会のニーズに応じて、個人住宅から都市全体にいたるすべての生活環境を対象に、快適で魅力あるものづくりを目指します。そのための基礎知識である理数系や工学系の科目はもちろん、歴史、文化、芸術などの幅広い分野も学びます。加えて建築学の専門科目も、基礎から応用まで隔々まで学びます。

最近の設計演習や構造実験では最先端機器を積極的に活用しています。その結果、コンピュータで設計し、レーザー加工機を活用して製作した構造物作品が 2016 年の全国高専デザインコンペティションで最優秀賞を獲得しました。また 3DCAD でデザインした家具を実寸で制作し、呉市内の歩道に設置した例もあります。さらにエコ住宅の設計に役立つサーマルマネキンを使って呉地域の住環境分析に役立つ研究もしています。

本学科の卒業生は、豊富な専門的知識と積極的な行動力により、実力優先の社会の期待に十分に答え、建設現場で活躍する総合建設業や設計事務所をはじめ幅広い分野で高い評価を受けて活躍しています。卒業後すぐに「一級建築士」及び「二級建築士」を受験でき、多くの卒業生が合格しています。４学科の中で最も女子学生の比率が高く、半数近くが女子学生である点も建築学科の特徴です。



建築学科のカリキュラムの特徴 Characteristics of curriculum

建築学科のカリキュラムは設計計画系・構造系・環境系科目で構成されており、建築技術者として必要な専門知識や建築技術、創造的なデザイン力を身に付けることができます。1年次から造形や設計製図などの基礎科目を学び、高学年になると建築設計や建築構造、建築環境に関する専門科目を設置し、効率よく知識が修得できるようにしています。加えてコンピュータを使って建築の図面を描く3DCADや、立体的な完成予想図を描くCGの技術を修得するための科目が設けられており、学外の設計競技（コンペティション）にも十分に通用する実力を修得でき、卒業後の就職・進学に備えることができます。

またコミュニケーション力の養成にも注力し、スマートボードとCGを駆使して学生が創った作品をプレゼンテーションする授業や、国際性を養うために教員が英語で行う建築の専門科目の授業もあります。

本カリキュラムは、一級建築士及び二級建築士の資格取得試験の学科要件である「国土交通大臣が指定する建築に関する科目（指定科目）」の単位数を十分に満たしており、卒業と同時に一級建築士及び二級建築士の学科試験を受験できます。特に二級建築士については取得のための実務経験が不要ですので、学科試験に合格すれば最短で大学生より二年早く資格を取得できます。

※数字は単位数 青字は選択科目（2023年度入学生から適用）

1年	2年	3年	4年	5年
建築設計製図Ⅰ 1	建築設計製図Ⅱ 4	CAD基礎 1	工学総合演習Ⅰ 2	工学総合演習Ⅱ 2
ものづくり実習 1	造形Ⅱ 1	建築設計製図Ⅲ 4	応用数学 1	卒業研究 10
造形Ⅰ 1	建築計画Ⅰ 1	デザイン基礎 1	情報処理Ⅰ 1	建築設備Ⅱ 2
建築学入門 1	建築構法Ⅱ 1	建築史Ⅰ 1	CAD・CGⅠ 1	建築工学実験 1
建築構法Ⅰ 1	建築構造力学Ⅰ 1	建築史Ⅱ 1	CAD・CGⅡ 1	建築防災工学 2
	建築構造力学Ⅱ 1	建築計画Ⅱ 1	建築設計製図Ⅳ 2	建築法規Ⅰ 2
		福祉住環境 1	建築史Ⅲ 2	建築法規Ⅱ 2
		鉄筋コンクリート構造Ⅰ 1	建築意匠 2	建築材料Ⅲ 2
		建築構造力学Ⅲ 1	建築計画Ⅲ 2	建築生産Ⅰ 2
		建築構造力学Ⅳ 1	都市計画 2	建築生産Ⅱ 2
		建築構造力学演習 1	建築環境工学Ⅰ 2	技術者資格演習 1
		建築材料Ⅰ 1	建築環境工学Ⅱ 2	情報処理Ⅱ 1
		建築材料Ⅱ 1	建築設備Ⅰ 2	建築設計製図Ⅴ 2
			鉄筋コンクリート構造Ⅱ 1	インテリア計画 2
			鉄筋コンクリート構造Ⅲ 1	
			鋼構造Ⅰ 1	
			鋼構造Ⅱ 1	
			建築構造力学Ⅴ 2	
			ゼミナール 1	
			地域実践演習 4	
			校外実習 1	



建築学科作品集



建築学科作品展



デザインコンペティションでの発表



模型づくり



スマートボードによる授業



卒業設計（学生作品）



建築VRの研究

一般科目

General Education Program



本科の教育目的 Purpose of Education

豊かな教養と国際性を持ち、それぞれの専門分野において実験・実習・演習を重視した教育により工学に関する知識や技術を身に付け、各分野の課題に対応できる人材を育成する。

在学中に取得を推奨する資格など

Recommended qualifications while in school

TOEIC / 英検 / 技術英検 / EMaT / 数学検定 / 漢字検定 / 科学検定 / 理科検定 ほか

主な実験・実習設備 Main experimental and training facilities

コンピュータ支援語学演習装置 / EM-CCD カメラ / 蛍光顕微鏡 / 高速液体クロマトグラフィー / ソーラーシュミレーター / 蛍光分光光度計 / ガスクロマトグラフィー / イオン濃度計 / 超音波洗浄器 / 電気低温乾燥器 / 電子式水分計 / 偏光計 / 超純水装置 / 陶芸用電気炉 / 真空排気装置 / 電磁誘導実験器具 / 電子比電荷測定器具 / シンチレーションカウンター / NIM 計測器 / 簡易 3D プリンタ / 放射線計数器



英語プレゼンテーション



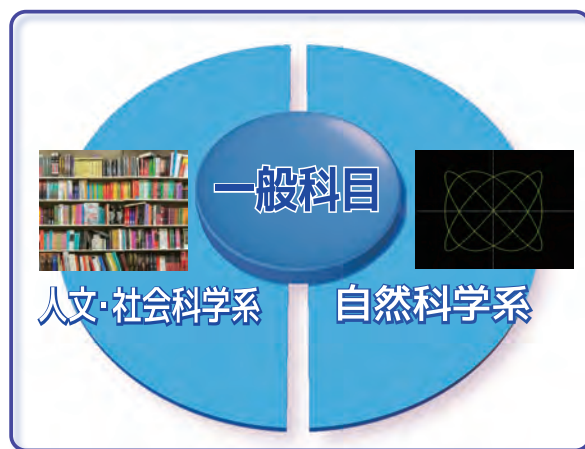
物理授業

一般科目の紹介 Introduction

今日の科学技術者は幅広い常識と高度な専門知識を持つとともに、豊かな想像力と鋭い国際感覚を併せ持ち、専門分野の課題に対応できる人間であることが望まれています。高等専門学校はこのような人材の育成を目指して、5年間の一貫教育を行っている高等教育機関です。そして、この目的に沿うために一般教養科目が置かれ、教育課程が編成されています。

人文・社会科学系の科目は人間活動のもとになる豊かな教養の修得を目指します。国語、英語・外国語ではコミュニケーション能力の養成、語学を通して日本及び世界の文化・社会などへの関心を深め、国際性を高めることを目指します。社会では世の中の仕組みや歴史・地理・公共などを学ぶことにより、ものごとを総合的な視点に立って判断するための基礎を身に付けます。保健・体育では各種のスポーツを通じてルールやマナーを守ることや協調性を修得します。

自然科学系の科目（数学・理科）は工学（専門）の基礎となるものです。数学では論理的思考能力、基本的な計算力・応用力を、理科では自然現象の背後にある法則や理論を学びます。



一般科目のカリキュラムの特徴 Characteristics of curriculum

一般科目のカリキュラムは人文・社会科学系と自然科学系科目で構成されており、どの専門学科を選択するにしても共通して必要な一般教養と国際性（国語、社会、保健・体育、芸術、英語など）、工学に関連する基礎学力（数学、理科など）が養えるように配慮されています。そして、学年が進むにつれて一般科目の授業数が少なくなり、専門科目の授業を多く履修するようになります。教育内容は、基礎的な後期中等教育段階から始まり、次第に高度な高等教育段階へと発展して履修されていくようになります。今後いよいよその重要性が増していく語学の授業においてはCALLシステム（コンピュータ支援語学学習）やインターネット通話システム（スカイプ）を導入したPC演習室を利用するなど豊かな教育環境の下で授業が展開されています。さらに、学生が社会のニーズを捉え創造的に課題に対応できる能力を養うことを目的として学年・学科を問わず特定のテーマのもとグループごとに行う総合教育（インキュベーションワーク）を実施します。

※数字は単位数 青字は選択科目（2019年度入学生から適用）

1年	2年	3年	4年	5年
現代文Ⅰ 1	現代文Ⅲ 1	日本語表現力基礎 1	日本文学 2	技術者倫理 2
現代文Ⅱ 1	古典文学Ⅱ 1	地理総合 1	英語Ⅶ 2	英語Ⅸ 2
古典文学Ⅰ 1	公共Ⅰ 1	英語Ⅴ 2	英語Ⅷ 2	体育Ⅴ 1
歴史総合Ⅰ 1	公共Ⅱ 1	英語Ⅵ 2	体育Ⅳ 1	第二外国語Ⅰ 2
歴史総合Ⅱ 1	英語Ⅲ 1	体育Ⅲ 2	物理科学 2	第二外国語Ⅱ 2
英語Ⅰ 1	英語Ⅳ 1	数学AⅢ 2	インキュベーションワークⅣ 2	
英語Ⅱ 1	英語表現Ⅲ 1	数学AⅣ 2		
英語表現Ⅰ 1	英語表現Ⅳ 1	物理Ⅴ 1		
英語表現Ⅱ 1	芸術 1	物理Ⅵ 1		
保健 1	体育Ⅱ 2	インキュベーションワークⅢ 2		
体育Ⅰ 2	数学AⅠ 1			
基礎数学AⅠ 2	数学AⅡ 2			
基礎数学AⅡ 1	数学BⅠ 1			
基礎数学BⅠ 1	数学BⅡ 1			
基礎数学BⅡ 1	物理Ⅲ 1			
基礎数学C 1	物理Ⅳ 1			
物理Ⅰ 1	化学Ⅲ 1			
物理Ⅱ 1	化学Ⅳ 1			
化学Ⅰ 1	俯瞰学 1			
化学Ⅱ 1	インキュベーションワークⅡ 2			
ライフサイエンス・アースサイエンス 1				
情報リテラシー 1				
プロジェクトデザイン入門 2				
インキュベーションワークⅠ 1				



体育授業



短期留学生との交流授業



国語授業



芸術授業

専攻科

Advanced Course

プロジェクトデザイン工学専攻

Project Design Engineering



プロジェクトデザイン工学専攻の教育目的

Purpose of Education

豊かな人間性と国際性を持ち、学修してきた専門分野を深めながら、複合的な素養を身に付け、多様性を涵養し、プロジェクトをデザインできる人材を育成する。

在学中に取得を推奨する資格

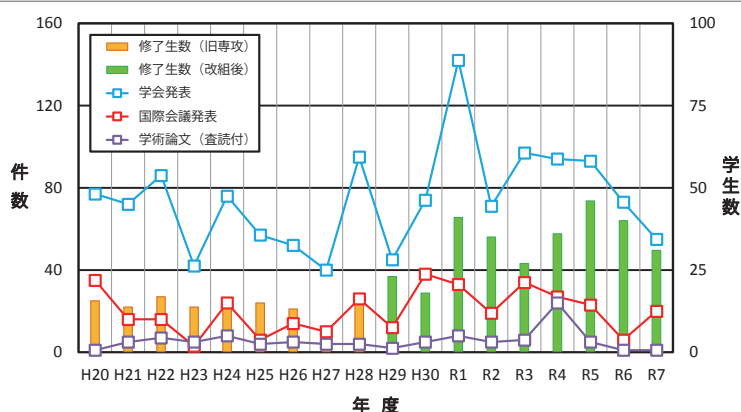
Recommended qualifications while in school

TOEIC500 点以上／技術士一次試験／一級建築士・二級建築士

専攻科修了生の研究実績

Main experimental and training facilities

過去 18 年間の研究実績を平均すると、専攻科修了生約 27 名に対し、学会発表は約 76 件（ひとりあたり 3 件）、国際会議発表は約 20 件（ひとりあたり 1 件）、査読付きの論文も 6 編程度掲載されるなど、学士でありながら大学院前期課程修了生並の高い研究実績を上げています。



プロジェクトデザイン工学専攻の紹介

Introduction

グローバル化とイノベーションが刻々と進み、激動する社会に対応する人材を育成するため、呉高専専攻科は、平成 28 年度に従来の 2 専攻「機械電気工学専攻」「建設工学専攻」から、複合型の 1 専攻「プロジェクトデザイン工学専攻」に改組しました。併せて定員も本科定員の 25% と大幅に増やし、本科から専攻科まで連続した 7 年一貫教育の体制を強化しました。

プロジェクトデザイン工学専攻で目指すべき目的は大きく 3 つあります。ひとつは「本科で学修してきた専門分野を深めながら、複合的な素養」を身に付けること、二つ目は「自ら課題を見出し、企画から設計・製作までプロジェクト全体をデザインできる能力」を養うこと、三つ目は、それらのベースとなる「豊かな人間性と国際性を養い、多様性を涵養」することにあります。これらを実現すべく、カリキュラムはいろいろと工夫を凝らし、精選しています。本専攻ではこれらの教育を行うことにより、本科において孵化した「世界目線」の学生を、本格的に成長させることを目指しています。

なお、本専攻科は、大学改革支援・学位授与機構から特別適用専攻科として認定されており、平成 29 年度専攻科入学生から、特別研究の学内審査と修得単位の審査のみで「学士（工学）」の学位を取得できるようになりました。



プロジェクトデザイン工学専攻のカリキュラムの特徴 Characteristics of curriculum

本専攻のカリキュラムは、本科で修得した主専攻となる専門分野の知識や能力を深めるとともに、他の専門分野の知識や技術を取り入れながら、異分野と協働してプロジェクトをデザインするための能力を身に付けることができるように構成されています。すなわち、豊かな教養と倫理観により、国際的に行動できる能力を修得するために人文・社会科学系の教養科目（科学英語表現法やグローバル論理など）を設け、工学に関連する应用能力を修得するために専門基礎科目（数学応用工学や総合ゼミなど）を設けています。また、専門分野の課題を解決できる能力を修得するために専門科目（高度専門特別講義など）を設け、社会のニーズを捉え、異分野と協働して課題を解決できる能力を修得するために、総合的なプロジェクトのデザインを実践する科目であるプロジェクトマネジメントならびにプロジェクトデザイン工学演習を設けています。さらに、専門能力を深めるための科目として応用研究と特別研究を設けています。

数字は単位数 青文字は選択科目

1 年		2 年	
教養科目		教養科目	専門科目
日本語表現法	2	科学総合英語	CAD / CAM・CAE
科学英語表現法Ⅰ	1	プロジェクトマネジメント	高度専門特別講義Ⅱ※
科学英語表現法Ⅱ	2	専門基礎科目	特別研究
グローバル倫理	2		福祉工学
経営マネジメント(連携教育)	2	プロジェクトデザイン工学総合ゼミⅡ	再生可能エネルギー工学
専門基礎科目		数学応用工学Ⅱ	工業デザイン論
数学応用工学Ⅰ	2	生命科学	環境人間工学
プロジェクトデザイン工学総合ゼミⅠ	2	数値計算法	プロジェクトデザイン工学演習Ⅰ
物理応用工学	2	資源循環工学	プロジェクトデザイン工学演習Ⅱ
化学応用工学	2	量子力学	
専門科目			
高度専門特別講義Ⅰ※	4		
インターンシップ	10		
応用研究	6		
建築設計演習	2		

※高度専門特別講義Ⅰは下記から2科目選択

機 械 系：

数値流体工学、弾性設計学、医用工学、
メカトロニクス特論

電気情報系：

電磁波システム工学、アドバンスドコントロール、ソフト
コンピューティング、インフォメーションテクノロジー

環境都市系：

応用水理学、環境地盤力学、テラメカニクス

建 築 系：

都市・地域計画、各種コンクリート構造、近代デザイン史

※高度専門特別講義Ⅱは下記から2科目選択

機 械 系：

振動工学、機械要素、システム制御

電気情報系：

マイクロエレクトロニクス、
モーターエレクトロニクス、
材料物性学、バイオメトリクス

環境都市系：

建設材料論、応用解析法

建 築 系：

耐震構造、人間温熱生理、環境デザイン



プロジェクトデザイン工学演習の授業風景

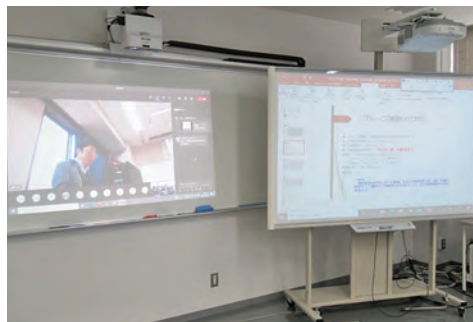


プロジェクトデザイン工学総合ゼミⅠの授業風景

連携教育は各高専の教員が協働して、良質な教育コンテンツを提供することを主な目的として実施しています。授業では Microsoft 社の Teams と電子黒板を活用して、遠隔地の教室に教員の画像と音声および授業資料を提供しています。各高専の教室を双方向に結び、各高専の教員や遠隔地の学生同士が協働するグループワークを実践しています。遠隔地の学生たちが1つの課題を克服するチームワークを実践することにより、テレワークにおけるグループ活動に関するマネジメントを修得しています。呉・宇部・広島商船・徳山の4高専が連携して、授業科目「経営マネジメント」（連携教育名：経営管理工学）が開講されています。



スマホやノート PC を活用した他高専の学生とのグループワーク

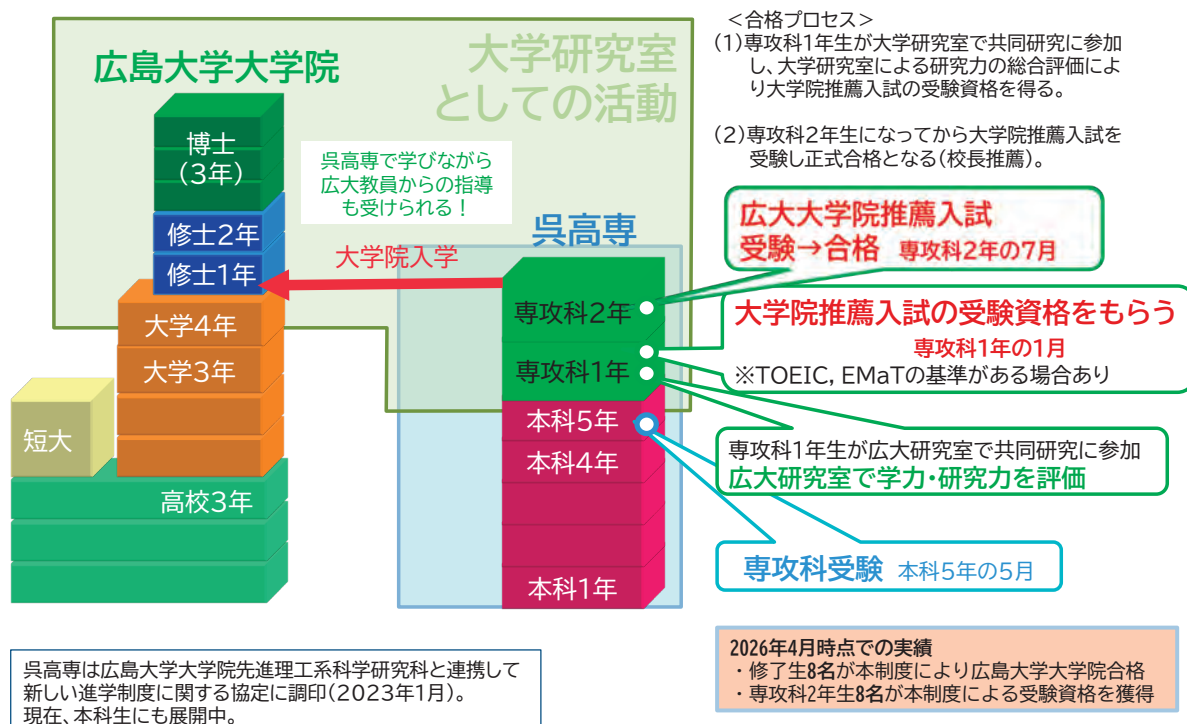


Microsoft Teams および電子黒板による遠隔授業

広島大学・呉高専連携大学院進学制度 Admission Program from Kure College of Technology to Hiroshima University's Graduate School through Collaborative Research Participation

呉高専専攻科から広島大学大学院（先進理工系科学研究科）に進学するための、前例のない新しい試みとして、広島大学・呉高専連携大学院進学制度が創設されました。

本制度では、呉高専専攻科1年生が指導教員を介して広島大学の教員との共同研究に参加し、研究活動における長期的な総合的な能力評価に基づき、翌年の大学院推薦入試の受験資格が与えられます。ここでの研究活動とは、大学研究室のゼミに参加し、大学教員と高専教員による指導の下で大学生、大学院生とともに課題に取り組み、研究の実施や発表を行うなどの活動です。大学研究室の一員としてこのような研究活動を継続しながら、当該研究室に進学することを主眼としている点がこの制度の大きな特長です。すなわち、専攻科1年生の時点で大学院での活動を体験することができ、両機関の教員から研究指導を受けることで、早期に大学院への進学を道路として思い描くことができるため、より一層研究活動に集中できます。



広島大学・呉高専連携大学院進学制度の枠組み

長期インターンシップ Long-term Internship

本専攻では長期インターンシップを重視し、1年前期（5～7月）に10単位の必修科目として実施しています。インターンシップでは、企業や研究機関等で現実の課題に取り組むことにより、社会で通用する知識を確認し、それらをさらにブラッシュアップするとともに、不足している知識や能力を知り、新たに身に付けるべき課題を見出すことにもなります。また、企業等における時間感覚やコスト感覚、マネジメント感覚を養うとともに、コミュニケーション力やプレゼンテーション力を磨くことにより、人間力を育成することも大きな目的としています。これらの経験を積むことにより、本専攻で目指しているプロジェクトデザイン教育の重要性を再認識し、学習に対するモチベーションを向上させるとともに、応用研究や特別研究がより活性化することも目的としています。



インターンシップ事前研修



インターンシップ中の様子



実習先での発表の様子



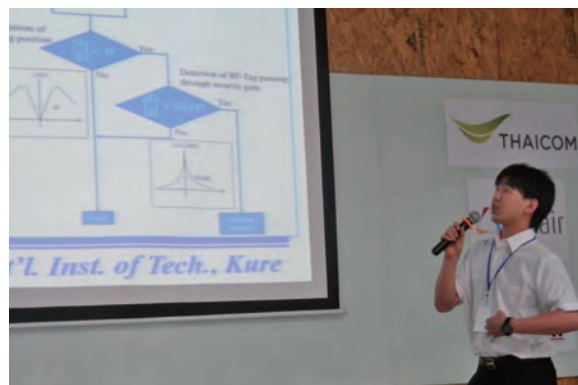
インターンシップ報告会

特別研究 Thesis Work

特別研究では、本科及び専攻科の学修総まとめ科目として、それまでに学修してきた知識や能力をさらに深化させ、教員の指導の下で専門の研究活動を行います。専攻科では、本科での卒業研究の経験をベースにし、より高度な研究能力を養うため、長期インターンシップならびに高度専門特別講義やプロジェクトデザイン工学総合ゼミなどを開設するとともに、専攻科修了までに国内外での学協会発表を全員に義務づけています。令和6年度修了生（40名）の場合、発表件数は延べ80件（うち国際会議での発表は6件）、査読付き論文も1編掲載され、学協会から表彰を受けるなどきわめて活発に活動しており、大学院生と遜色ない研究発表能力を身に付けています。



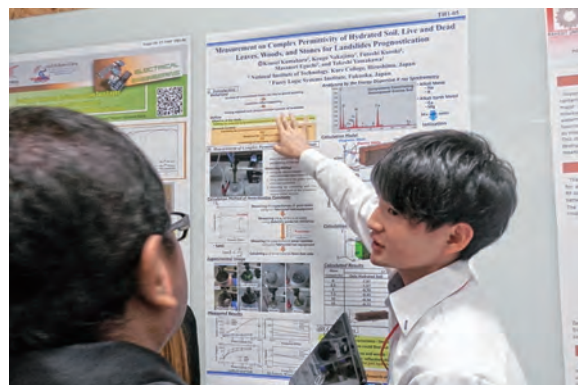
風洞実験による風車性能評価



学会発表



学生優秀発表賞の受賞



国際会議における英語でのポスター発表

学校行事 College Events

本校は、前期と後期の2学期制です。1年間を通して、さまざまな行事が開催されます。



入学式



体育祭



保護者懇談会



学校見学会



全国高専体育大会

4月	入学式、編入学式、入寮式
	始業式、対面式
	新年度ガイダンス
	新入生オリエンテーション
	新入寮生歓迎行事
	寮生会総会
	開校記念日
	学生健康診断
5月	保護者参観公開授業
	学生寮防災避難訓練
	専攻科入学者選抜試験（推薦）
	学生総会
	前期中間試験
6月	春の寮祭
	消防避難訓練
	保護者懇談会、寮生保護者懇談会
	体育祭、高専大会壮行式
7月	学校をよくする懇談会
	中国地区高専体育大会
	専攻科入学者選抜試験（学力）
	編入学試験
8月	前期末試験
	学校見学会
	夏季休業
9月	全国高専体育大会
	夏季休業
	校長訓話
	全国高専ロボットコンテスト（中国地区大会）

10月	寮生会総会
	入試説明会（呉、広島、福山）
	特別見学旅行（4年）
	保護者参観公開授業
	中国地区高専英語弁論大会
	専攻科入学者選抜試験（社会人）
	寮祭
	全国高専プログラミングコンテスト
11月	高専祭、学校見学会
	高専祭
	中国地区高専冬季体育大会
	全国高専デザインコンペティション
	球技大会
12月	全国高専ロボットコンテスト
	後期中間試験
	スポーツリーダーズセミナー
	クリスマスサイエンスショー
1月	冬季休業
	冬季休業
	入学者選抜試験（推薦）
	学生総会
	校内駅伝大会
	特別研究発表会
2月	全国高専英語プレゼンテーションコンテスト
	入学者選抜試験（学力検査）
	学年末試験
	応用研究発表会
	卒業研究発表会
	終業式
	学年末休業
3月	学年末休業
	入学説明会
	卒業式、修了式
	進路懇談会



高専祭



球技大会



ロボコン



校内駅伝大会



卒業式

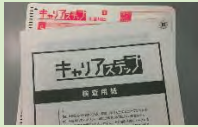


教育活動 Educational Activities

キャリア教育 Career Education

SAPAR キャリア教育

5年間の進路指導を、1・2年次（職探し＝サーチS、自己分析＝セルフ・アナリシスSA）、3年次（計画＝プランP）、4年次（実行＝アクションA）、5年次（実現＝リアライズR）の“SAPAR”と名づけて体系的なキャリア教育プランとして実施しています。（平成18年度から実施）

1年次 職探し=Search S	2年次 自己分析=Self Analysis A	3年次 計画=Plan P	4年次 実行=Action A	5年次 実現=Realize R
技術者としての職業について学び、高専の教育を受けるための準備をする ・プロジェクトデザイン入門 ・INK ・先輩に聞く（就職体験談） INK グローバルに活躍する人の話を聞く後援会や交流会のこと  専門科目導入演習 ペーパーブリッジコンテスト 	キャリアプラン作成の準備のために適性検査と自己分析を行う ・INK ・先輩に聞く（就職体験談） ・適性検査 ・社会人基礎力・職業適性診断 ・キャリアステップ（実務教育出版）を実施   自己分析 保護者から見た学生の長所を手紙に書いてもらい、適性検査結果と合わせて自己分析シートを完成させる 	自身の進路について具体的な計画（キャリアプラン）を立てる ・INK ・先輩に聞く（就職体験談） 編入学試験対策セミナー・大学説明会  就職準備セミナー・公務員試験説明会  高専生のための合同会社説明会 	キャリアプランの実現に向けて、各種セミナーやインターンシップなどを行う ・インターンシップ ・SPI模擬試験 ・進路懇談会 名刺交換のマナー  専攻科入試説明会  呉高専OB技術士会「九嶺会」による技術士制度説明会 	

※専攻科は、本科4・5年生に準じた活動を行います

スタートアップ・アントレプレナーシップ教育 Start-up・Entrepreneurship Education

文部科学省「高等専門学校スタートアップ教育環境整備事業」の経費補助を受け、学生が起業を含め自由な発想でものづくりにチャレンジできる環境整備を行いました。

製作フィールドとして整備を行った「インキュベーションスクエア」では、レーザー加工機やUVプリンターなど最先端の加工機を導入し、様々なものづくりを行うことができ、モデル検証フィールドとして整備を行った「情報交流室」や「VRショールーム」では、メタバース交流空間やCAE解析ソフトを導入し、仮想空間での情報交流や検証・評価を行うことができます。

また、アントレプレナーシップ教育として、「起業入門」、「経営・金融・流通」、「マーケティング入門」などの学科横断型講義を実施しています。



インキュベーションスクエア



情報交流室



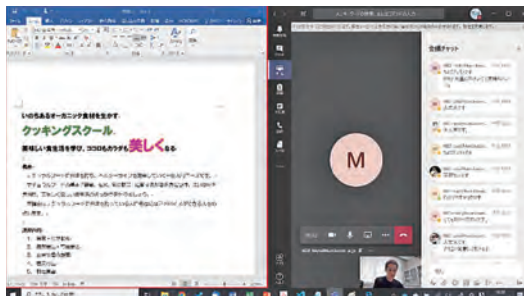
起業入門

ICT 教育 ICT Education

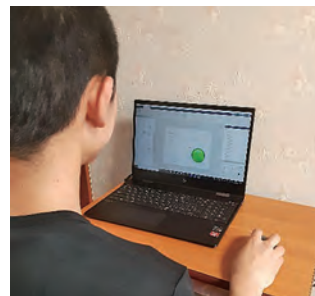
本校では、学生たちがこれまでも、パソコン演習室を利用して、コンピュータ言語を学んだり、CAD の操作を学んだりしてきました。本校は、情報技術を学び、そして利用する教育を実施してきました。

2020 年には、実験や実習以外については、自宅にしながら授業に参加するオンライン授業を実施しました。また情報セキュリティや AI（人工知能）についても学ぶこともできるようになりました。

これからは、オンライン授業の経験を基礎にして、一人 1 台自分自身のノートパソコンを使いながら、いままで以上に授業の中で情報通信技術（ICT）の活用を実現していきます。



オンライン授業の画面



自宅での様子

e-ラーニング（情報システム利用学習） e-Learning (learning through information systems)

学生の自主的な学習を支援するために、e-ラーニングシステムを導入しています。e-ラーニングとは、先生の代わりにパソコンやスマホの画面上に表示される指示にしたがって、自分自身で学習を進めていく自学自習の学習方法のことです。自分の都合のよい時に学習をはじめられて、演習問題や解説で理解度を確認しながら、自分にあったペースで繰り返し学習することができます。さらに、学内だけではなく、インターネットが利用できる環境であればどこでも学習をすることができます。

本校の e-ラーニングシステムは、基礎学力を補うためのリメディアル教育として学習者への教材の配信手段としての役割やテストや課題レポートなどの成績を含む学習履歴を総合的に管理する役割だけでなく、教員と学生のコミュニケーションを円滑に行うための学習ポータル役も合わせ持っています。

また、高専機構と Microsoft 社との包括協定により、本校の学生は誰でも無償で Microsoft 365 を利用可能です。パソコンだけでなくスマホでも利用可能な最新のオフィススイートを使って学習できる環境が整っています。



e-ラーニングの授業風景



e-ラーニングシステムを利用した自学自習の様子

COOP(協働・連携) 教育 COOP (collaborative, cooperative) education

アガデミア（阿賀学園地域教育連携活動） AGADEMIA (AGA school area cooperative activities)

アガデミアとは、本校を含む阿賀地区の 7 つの教育機関と地元自治会等とで組織する「阿賀学園地域教育連携協議会」の愛称です。多くの学校が隣接する文教地区としての特色を生かし、学校と地域住民の方々が連携して活動を行っています。参加団体の代表が定期的に本校に集まって協議会を開催し、阿賀地区合同津波避難訓練、クリーンアップ阿賀（阿賀地区合同清掃活動）、アガデミア文化発表会などを毎年実施しています。これらの行事には本校の学生、教職員が参加し、地域の安全、美化、文化活動に貢献しています。

〈7つの教育機関〉

阿賀小学校、阿賀中学校、呉高等学校、広島文化学園大学、呉工業高等専門学校、呉南特別支援学校、呉高等技術専門学校



津波避難訓練



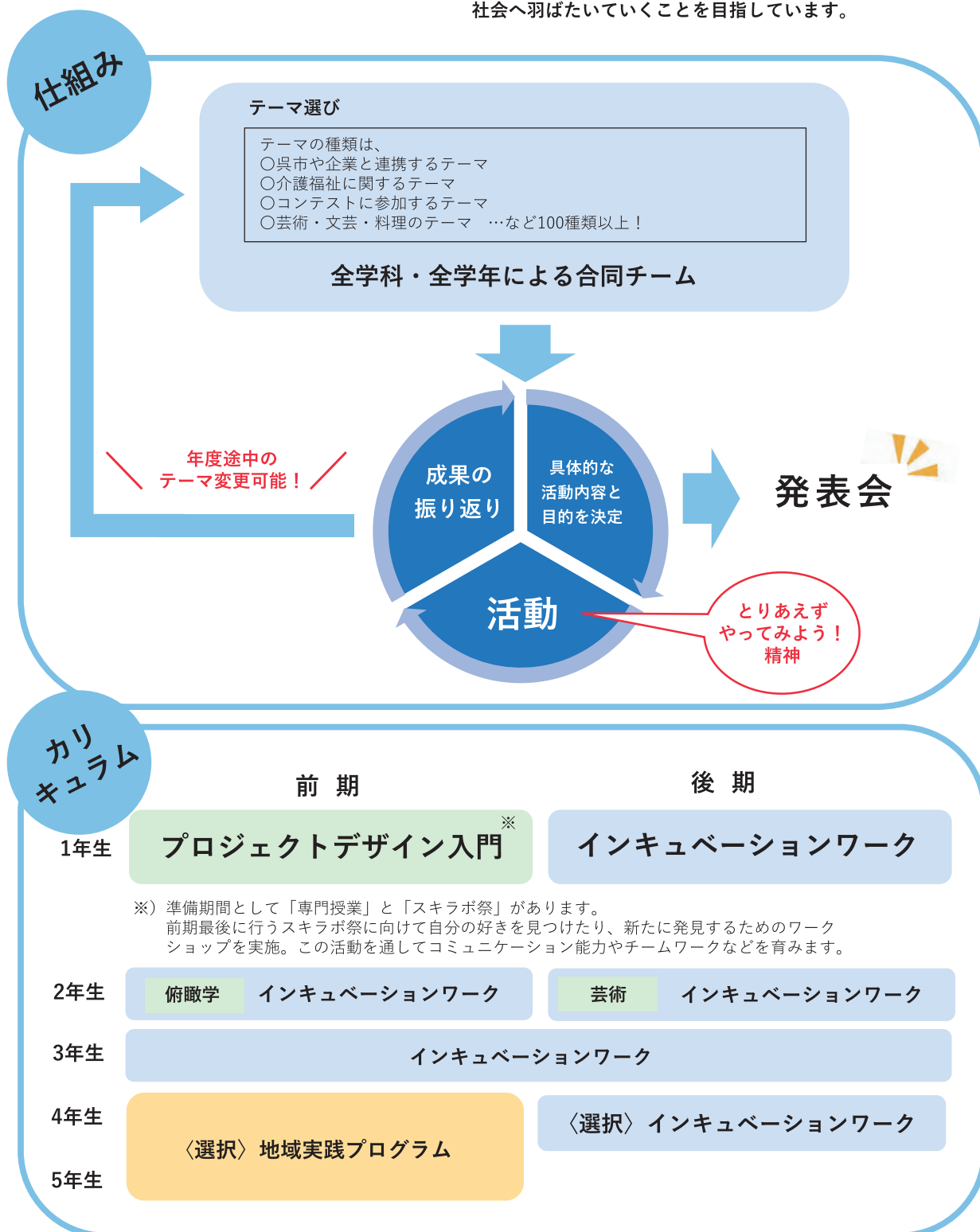
インキュベーションワークって何だろう？

どんな活動をしているの？

学生・教員がグループに分かれて
1つのテーマを1年間かけて取り組みます。

どんなことを目指しているの？

インキュベートとは卵が孵化するという意味です。
「何を学んだか」を大切に“技術者の卵”である高専生が
技術力と共に人々に幸せをもたらす人材へと育ち、
社会へ羽ばたいていくことを目指しています。



インキュベーションワーク活動記録2025



豊島で実施したマツダ協力による 島おこしインキュ活動

島おこしインキュでは、「とびしまカー」を製作し、島にないものを島へ届けるという活動のゴールにつながる取り組みを行っています。

今回は、豊島で初めての現地イベントを開催しました。将棋やオセロなどのボードゲームを通して島民の方々と交流し、世代を越えたつながりを深めることができました。また、マツダの方々によるワークショップでは、廃プラスチックを再利用したミニカー作りを体験しました。



「ウサギ島のグレイスとプティ」の 中国語版と英語版を作成しました

私たちIW「大久野島の問題解決！」は、前期に作成した大久野島のウサギの環境などについて紹介する絵本「ウサギ島のグレイスとプティ」の中国語版と英語版を作成しました。

英語版は、呉高専の英語の先生方に監修して頂き、中国語版は、日本語版を読んだ広島大学の留学生が翻訳して下さいました。様々な方のご協力によって完成しました。

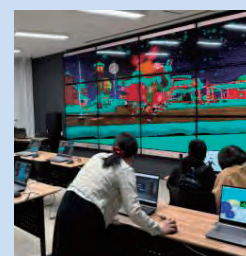
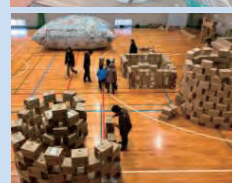
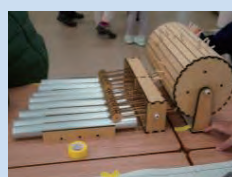
大久野島には、海外の観光客の方も多く訪れるので、この絵本を読んでもらい、観光を楽しんでいただきたいと思います。



GCON2025に参加しました！

私たちMECA女養成プロジェクトは、12月14日に開催された第4回高専GIRLS SDGs×Technology Contestに参加しました。本プロジェクトでは、「技術者におけるジェンダーフリー社会の推進」をテーマに、約11年間にわたる活動の歩みを踏まえながら、男女平等な社会参画を実現するための環境づくりに向けた提案を行いました。

本プロジェクトの取り組みが評価され、「三菱電機エンジニアリング賞」を受賞することができました。



2025クリスマスサイエンスショー

12月14日（日）に2025クリスマスサイエンスショーを開催しました。インキュベーションワークの活動の一環として様々な学生主体のブースを開設し、ご来場の方にもものづくりや体験などを楽しんでいただきました。大変にぎやかなクリスマスサイエンスショーとなりました。



「ミニ運動会」の開催

インキュベーションワークの活動として阿賀小生徒と延崎保育園を対象にミニ運動会を開催しました。幼児を含め20人以上が参加してくれました。

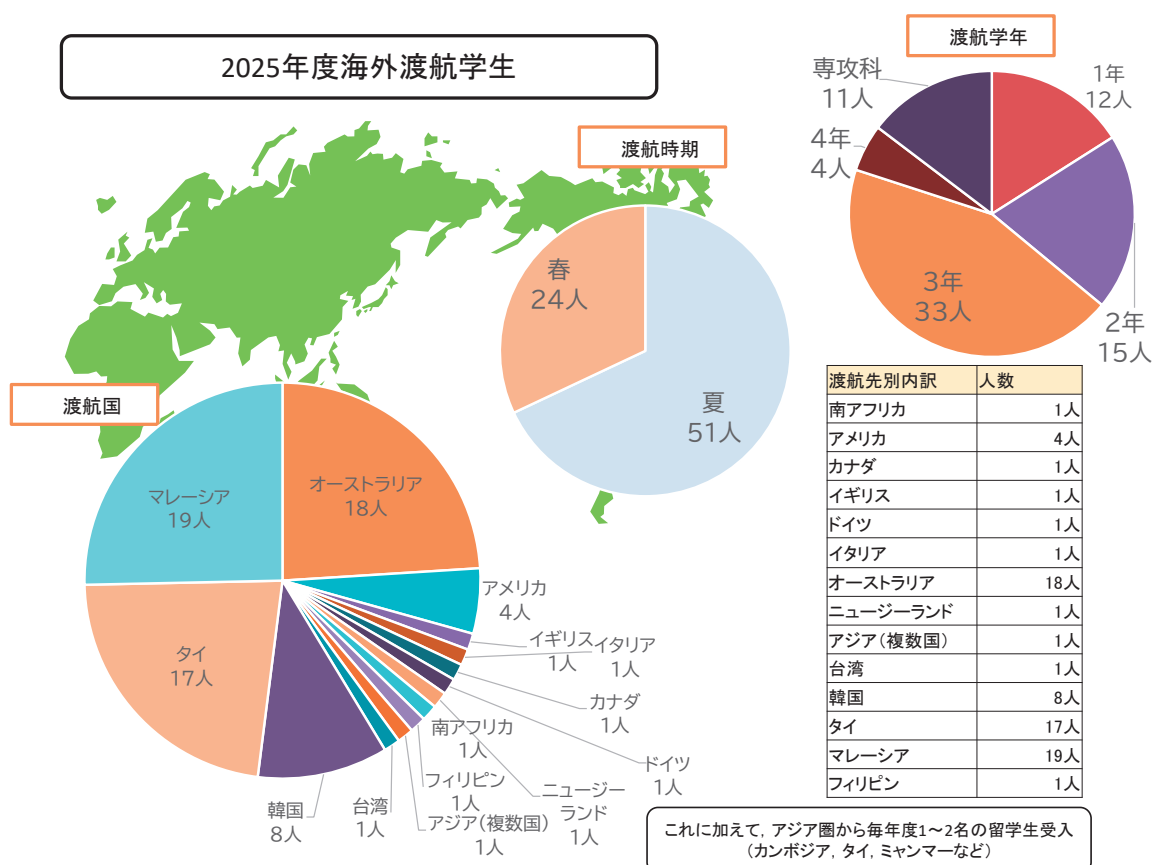
高専の体育祭のプログラムを子ども向けに工夫して競技を行いました。大玉転がしやスプーンリレー、玉入れ、綱引きなどをして楽しみました。

立ち上がっているテーマは100以上あり、ここでは紹介できなかったテーマがまだまだあります。テーマの情報は呉高専HPからご覧ください。



国際交流 International Exchange

本校では、国際的に活躍する技術者を育成するため2009年4月に国際交流室を設置しました。バックボーンとなる専門技術力に加えグローバル視点で物事が考えられる「グローバルエンジニア」の育成を目指し、「世界を知る」・「世界と対話する」・「世界に挑戦する」を成長のための3つのステップとしてさまざまな取組を行います。



世界を知る Know the World

○International round-table talk(INK)

身近なところのグローバルを知り、マインドを高めるというコンセプトで、呉・広島地区を拠点に海外で活躍し、国際機関で活躍する方々の仕事の内容、心構えや経験談を聞く講演や工場見学を、年間を通して継続的に開催しています。



講演の様子

○国際機関からの学校訪問受入

本校では、アジア各国から留学生を受け入れると同時に、視察や研修で日本を訪れる学生の受入も積極的に行っています。高専の授業に参加し、ディスカッション等を通して、普段の授業で世界とつながれる体験を大切にしています。



国際機関との連携

○アジア DAY

本校では、2015 年度から中国地区の高専生が、アジアの文化を体験するアジア DAYを開催しています。同イベントでは、高専間での留学生同士の交流を活性化させると共に、国の枠を超えた友人作りの場となっています。



アジア DAY

世界と対話する Interact with the World

○海外の高校・大学等との交流

協定校だけでなく市や県、国際機関と連携し、年間を通して国際交流イベントや派遣・受入プログラムを実施しています。これまでにアメリカ、マレーシア、タイ、韓国、メキシコ、シンガポール、ヨルダン、トルコ、台湾の学生や技術者と交流を行っています。



KOSEN-KMITL(タイ高専)派遣

○ラドフォード・カレッジ交換留学プログラム

姉妹校であるオーストラリアのラドフォード・カレッジと交換留学を行っています。ホームステイで滞在しながら、授業と一緒に受け、イベントを企画するなどの国際交流を続けています。



ラドフォード・カレッジにて

○イングリッシュ・キャンプ

2013 年度からネイティブの外国人講師の指導のもと、英語に親しみ、コミュニケーション力やグローバルマインドを身につける集合宿舎、イングリッシュ・キャンプを実施しています。



江田島青少年交流で実施

世界に挑戦する Challenge the World

○海外留学・トビタテ留学

学生の海外渡航を積極的に進めています。学びたいことや行ってみたい地域、達成したい目標など、学生それぞれのニーズに寄り添ったプログラムを企画し、海外へ踏み出す一歩を応援しています。



トビタテ！留学JAPANでの留学

○国際学会発表

学生が世界に挑戦する場として、専攻科生を中心に国際学会での研究成果発表を推進しています。参加学生の多くが大学院生の中で、発表を行っています。



IconCEES2025にて発表

○海外学術交流

協定校マレーシア・トゥン・フセイン・オン大学 (UTHM) とは、自身の専門性を現地でどう実践するか、共同でのプロジェクトに取り組んでいます。



UTHMとの共同プロジェクト



地域との連携 Cooperation with the Community

地域に根ざした高等専門学校を目指し、「人づくり」・「ものづくり」・「まちづくり」とさまざまな取り組みを行うことによって、地域からの幅広い要望に応え、さらには地域社会の活性化及び社会の発展に貢献しています。

人づくり Human Resource Development

公開講座 Open Lectures

教育研究の成果を地域社会に広く公開し、生涯学習の一端を担うとともに、教育機能を社会に反映させるため、工学系はもちろん、さまざまな分野の講座を開講しています。

公開講座開講実績（過去3年度分）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
開 講 講 座 数	13 講座	16 講座	10 講座
受 講 者 数	203 人	222 人	94 人

<令和6年度の公開講座例>

- エジソン・スクール（全6回）
- 環境都市シリーズ（全3回）
- 呉高専の制服アバターでメタバース体験
- 4輪で駆動する車の製作
- Cutout CGを使ったインテリアパース
- レーザー加工機でモノづくり体験

<令和7年度の公開講座例>

- エジソン・スクール（全3回）
- 環境都市シリーズ（全2回）
- AI画像生成を使った建築デザイン
- 4輪で駆動する車の製作
- ブラックホールの不思議を知ろう！
- レーザー加工機でモノづくり体験



エジソン・スクール
発電実験とソーラー・カーの製作

出前授業 On-site Class

小・中学校などでの教育支援ならびに授業及び実験を通して本校の教育内容を理解してもらうこと、また、理工系分野の魅力を発信するために出前授業を行っています。

<令和6年度の実施授業例>

- 地域模型で考える地域の防災
- ペーパークラフト猫の帽子「ねこかぶり」
- 「三びきのこぶた」に学ぶ材料の変形と強さ
- ヘキサフレクサゴンを作ろう
- AIの歴史

<令和7年度の実施授業例>

- 地域模型で考える地域の防災
- ペーパークラフト猫の帽子「ねこかぶり」
- 川のお話・水資源のお話
- 新聞紙でドームを作ろう（ペーパードーム）
- AIの歴史



「ねこかぶり」授業風景

クリスマスサイエンスショー Christmas Science Show

小・中学生に科学の楽しさともものづくりの醍醐味を実体験してもらうイベント「クリスマスサイエンスショー」を12月に開催しています。

課題探究型授業「インキュベーションワーク」活動の一環として、様々な学生主体のブースを開設し、令和7年度は約650名の方にお越しいただきました。



ものづくり Manufacturing

本校は、社会が求める技術者を養成する高等教育機関として、本校の所在する呉市をはじめとした地域及び企業等との連携活動を通して、教育・研究の場として地域の課題に取り組んでいます。

共同研究・受託研究／受託事業・技術相談 Joint research, contract research and business, technical consultation

共同研究・受託研究／受託事業・技術相談実績（過去3年度分）

区 分	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	件 数	金額(千円)	件 数	金額(千円)	件 数	金額(千円)
共 同 研 究	21	9,726	16	8,476	17	9,667
受託研究／受託事業	6	26,321	10	35,636	7	31,642
技 術 相 談	3	0	2	0	4	108

※技術相談については、初回の相談料は無料です。

地域からの卒業研究テーマの受入 Acceptance of Graduation Research Themes from the community

＜令和5年度実績＞

○環境都市工学分野 …SDGs に配慮した屋外イベントで利用する再生可能エネルギーの利用可能性

＜令和6年度実績＞

○環境都市工学分野 …上水汚泥バイオマスのリサイクル法開発

まちづくり Community development

地域との連携強化や地域社会の発展に寄与することを目的として、2023年8月に「呉工業高等専門学校地域コンソーシアム」を設立しました。地域企業等との交流企画等を実施し、本校の教育・研究リソースを地域社会に還元することで、まちづくりの推進を目指しています。

＜地域コンソーシアム活動の一例＞

○呉市・公益財団法人くれ産業振興センターと連携協定を締結

2024年2月7日に呉市及び公益財団法人くれ産業振興センターと、産学官交流及び地域産業の活性化に向けた協定を締結しました。

呉地域における産学官交流及び地域産業の活性化という目的の達成のため、「地域企業との交流拡大」「新事業創出の支援」「人材育成」の3項目について連携・協力事項を定め、学内施設の学外提供、交流企画の実施及び地元企業への長期インターンシップの推進等を通して、連携・協力事項の具現化を目指しています。



連携協定締結式

○スタートアップ教育環境整備事業施設・設備見学ツアー

2024年9月19日に文部科学省事業にて環境整備を行った本校の起業家工房施設・設備等の見学ツアーを開催し、計22名の会員の皆様にご参加いただきました。

本校の最新設備に直接触れていただき、見学ツアー終了後には今後の連携活動について意見交換を行いました。



情報交流室のメタバース空間を紹介

○地元企業に対する人財供給に関する意見交換会

2025年12月4日に呉市及びくれ産業振興センターと、地元企業への人財供給に関する意見交換会を開催しました。

主に卒業生・同窓会会員の地元企業や団体への転職を想定した、Uターン就職を中心に議論が進み、各組織の取り組み・課題の認識を共有した上でそれぞれ何ができるか、意見交換を行いました。



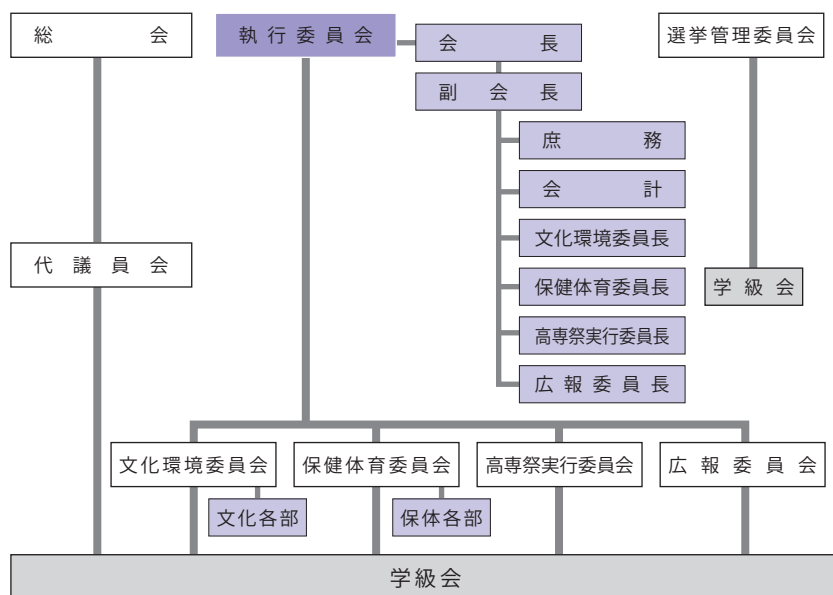
意見交換会の様子



学生会 Student Associations

学生会は、「会員の自主的活動により、会員個々の心身の鍛錬及びその人間形成を助長し、併せて会の自主的運営により、民主的人格を養う」ことを目的として設けられています。課外教育活動も盛んに行われ、多くの学生が好きなクラブに入って活動しています。毎年秋には、学生達の自主運営による高専祭が2日間開催され、各学科で面白い実験や展示を行います。各種の文化展示や演芸、各クラスによる模擬店も催されます。

学生会組織図 Student Association Organization chart



活動の成果 Results of Activities

【2025 年度】

○第 60 回全国高等専門学校体育大会成績

- 1 位：陸上競技 女子 100m
 テニス 女子団体 中国地区合同チーム
 水泳競技 男子バタフライ (100 m、200 m)、
 女子自由形 (50 m、100 m)
 2 位：水泳競技 女子背泳ぎ (100 m)
 女子フリーリレー (4 × 50 m)、
 女子メドレーリレー (4 × 50 m)
 3 位：陸上競技 男子 800m、女子 走高跳
 柔道 女子個人 63kg 級
 サッカー
 ソフトテニス 男子団体

○第 61 回中国地区高等専門学校体育大会成績

- 1 位：サッカー、
 ソフトテニス (男子)、男子個人 ダブルス
 水泳 (女子)、女子フリーリレー (4 × 50 m)、
 女子メドレーリレー (4 × 50 m)、
 男子バタフライ (100 m、200 m)、
 女子自由形 (50 m、100 m)、
 女子個人メドレー (200 m)
 陸上 男子 800m、男子 やり投、
 女子 100m、女子 800m、女子 3000m、
 女子 走高跳
 テニス 男子ダブルス
 2 位：陸上 (男子、女子)、男子 5000m、
 男子 110mH、男子 走高跳
 柔道、男子個人無差別級、女子個人 63kg 級
 硬式野球、
 テニス、
 ソフトテニス (女子)、男子個人 ダブルス
 ハンドボール
 水泳 女子個人メドレー (200 m)、
 女子背泳ぎ (100 m)、女子バタフライ (100 m)
 3 位：バスケットボール (男子)、
 剣道 (女子)
 陸上 男子 1500m、男子 円盤投、
 男子 4 × 400mR、女子 4 × 100mR、
 女子砲丸投
 柔道 男子個人 66kg級、女子個人 52kg級
 バドミントン 男子個人 ダブルス、
 女子個人 ダブルス
 テニス 女子ダブルス、女子シングルス
 ソフトテニス 男子個人 ダブルス
 水泳 男子背泳ぎ (200 m)、
 女子自由形 (50 m)

○第 18 回全国高等専門学校英語プレゼンテーション
 コンテスト
 3 位 シングル部門

クラブ活動 Club Activities

部	文 化 系	ICT 科学部／軽音楽部／吹奏楽部／演劇部／ダンス部 ロボット制作部／ワンダーフォーゲル部
	体 育 系	硬式野球部／ソフトテニス部／卓球部／バスケットボール部 バレーボール部／陸上競技部／柔道部／剣道部／サッカー部 アーチェリー部／テニス部／ハンドボール部／バドミントン部 ソフトボール部／水泳部
	そ の 他	インターアクトクラブ／人権問題研究会
同 好 会		写真同好会／理化学研究同好会／フォークソング同好会／建築デザイン同好会 将棋同好会／ピアノ同好会／書道同好会／茶華道同好会／自動車同好会 国際交流同好会／合唱同好会／e スポーツ同好会



サッカー部



水泳部



バレーボール部



ICT 科学部



ハンドボール部



テニス部



ロボット制作部



吹奏楽部

体育施設 Sports Facilities

第一体育館 First Gymnasium



第一体育館は、授業、部活動、入学式等、様々な用途で利用されています。本校の全学生約 900 名が一堂に会することが可能な広さであり、全校集会も実施されます。また、シャワー室も備わっており、1 階ロビーには AED（自動体外式除細動器）も備え付けられています。窓ガラスは安全面を考慮し、飛散防止用の窓ガラスにしています。

第二体育館 Second Gymnasium



第二体育館は、第一体育館ほどの広さはありませんが、授業、クラブ活動等に利用されています。入口には冷水器（ウォータークーラー）を備えており、窓ガラスは安全面を考慮し、第一体育館同様、飛散防止用の窓ガラスにしています。

武道場 Martial Arts Gym



武道場は、主にクラブ活動で利用され、柔道部、剣道部、ダンス部が利用しています。クラブ活動中は、学生の威勢のいい元気な声が聞こえてきます。

グラウンド／陸上競技場 Ground / Track and Field Ground



野球場、サッカー場を有する広大なグラウンド、400 メートルトラックを設置した陸上競技場を備えています。また、グラウンドにはナイター設備も備えています。授業、クラブ活動以外でも、体育祭等学校行事で利用されます。

テニスコート／アーチェリー場 Tennis Court / Archery Range



人工芝のテニスコートが 7 面あります。授業、ソフトテニス部・硬式テニス部のクラブ活動で主に利用されていますが、それ以外にも、昼休憩の時間に、心身の滋養のため複数の教職員、学生でテニスをする際にも利用されます。

アーチェリー場は複数人が同時に練習できる広さを備えています。周囲は緑に囲まれ、集中して練習に取り組める環境です。

福利厚生施設 Welfare Facilities

学生相談室 Student Counseling Room



学生相談室



カウンセリングルーム

多感な時期の学生生活を充実させるため、メンタル面のサポートや、日常生活の悩み事相談などを行う学生相談室が設置されています。専用のカウンセリングルームを完備し、落ち着いた雰囲気の中でカウンセリングができる環境が準備されています。学生相談室担当教員及び看護師の他、5名の非常勤カウンセラーと1名の非常勤スクールソーシャルワーカーを配置して週5日のペースでカウンセリングを実施しています。

保健室 Nurse's office



学生の心身の健康をサポートするため、保健室が設置されています。

保健室には常勤の看護師が配置されており、日常の健康相談、体調不良の際のサポート、学生相談の窓口、学生健康診断など、さまざまな業務を行っています。

トレーニングルーム Training Room



トレーニングルームは学生及び教職員の筋力増強・健康増進に資するためのマシンが設置されています。

トレーニングルームの使用方法は、1年時に体育の授業で説明があります。

食堂・売店 Cafeteria and Shop



食堂は110名が同時に利用できるホールを備え、売店は文房具、食品などを販売しています。

自動販売機コーナー Vending machine area

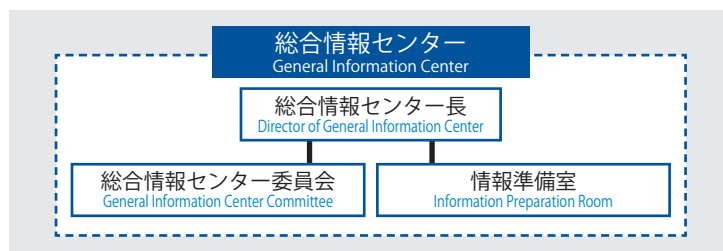


学内に自動販売機コーナーを設けており、各種飲料のほか、お菓子やアイスクリームなども購入することができます。

総合情報センター General Information Center



呉工業高等専門学校の総合情報センターは、情報技術修得のための環境整備や学内ネットワーク運用管理を目的として設置されています。



主な業務 Main functions

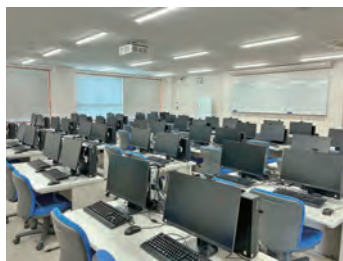
- 情報システム環境の維持・管理
- サーバー・ネットワーク管理と改善
- 情報機器、学内パソコンの保守・管理
- 情報ネットワークの活用
- ソフトウェア管理

主な設備 Main equipment

【パソコン演習室】

本校では、学生がパソコンに慣れ親しみ、情報処理能力を幅広く身に付けることができるように第1～第3パソコン演習室を設置しています。

第1パソコン演習室は、授業時間外であれば、自習、レポート作成など各自の学習や研究のために利用できます。



第1パソコン演習室



第2パソコン演習室



第3パソコン演習室

【学内無線 LAN】

学術情報ネットワーク（SINET）により、高速かつ信頼性の高いネットワークを通じて国内外と繋がることができます。

学術情報ネットワークは、研究・教育活動、就職活動などに利用するために設置されました。

【Eduroam】

高等教育機関や研究機関などにおいて、国際的に相互利用が可能なローミングサービスである eduroam に加入しており、学内無線 LAN はもちろん、他の eduroam 加入機関の無線 LAN も利用することが可能となっています。

【Microsoft365】

Microsoft 365 は、office(word や excel 等)、teams、sharepoint などのクラウド型のグループウェアをまとめて利用できるサービスのことで、呉高専に在籍するすべての学生・教職員は Microsoft 365 を無償で利用することができます。

【貸出ノートパソコン】

本校では、希望者にノートパソコンを貸出しています。

【さくら連絡網】

本校では、災害時等における学生の安否確認、緊急時の一斉連絡及び通常の連絡のために「さくら連絡網」を導入しています。

協働研究センター Collaborative Research Center



協働研究センターは、産学官連携及び地域連携活動を通じて本校の教育・研究を推進するとともに、産業技術の振興及び地域社会の発展に貢献することを目的として設置されました。

組織

本校の各分野の教員から組織され、運営を行っています。



主な業務 Main functions

【地域産業界等との連携】

- 地域企業等のニーズに応じて、技術相談、共同研究及び受託研究／受託事業を行っています。
- 本校のシーズや研究成果を各種展示会や研究フォーラム等で発信しています。

【地域の教育機関との連携】

- 広島県内の小・中学校へ出前授業に出向き、理科教育の推進を行っています。

【地域社会との連携】

- 本校の教育研究の成果を地域社会に広く公開し、生涯教育の一環として、文化の向上に貢献することを目的に、公開講座を実施しています。

【知財教育】

- 本校の学生を対象に、知的財産教育を含む実践的な技術教育及び研究指導を実施しています。
- 本校の知的財産の創出、権利化や維持・管理及び知財セミナーを実施しています。

【デジタルエンジニアリング研究】

- センターにデジタルエンジニアリング研究室を置き、3D プリンタ、3D スキャナ、NC 工作機械、CAD/CAM/CAE 等に関連した研究や技術指導を行っています。



展示会での研究成果発表



学生向け知財セミナー

主な設備 Main equipment

協働研究センターの設備は、本校の教育・研究を始めとして、企業・大学・研究所等外部の機関との共同研究や地域との技術交流に利用されています。

設備の詳細については、本校ホームページもしくは協働研究センターパンフレットをご覧ください。

- ・遺伝子解析装置
- ・自動細胞解析分離装置
- ・レーザー直接描画装置
- ・ナノ・マイクロ粒子解析装置
- ・マルチチャンネル超微量分光光度計
- ・マイクロプレートリーダーシステム
- ・表面形状測定システム
- ・単一細胞代謝分析装置



次世代シーケンサ



マスクレス露光装置



セルソーター



ナノサーチ顕微鏡・卓上SEM

技術センター Technical Center



技術センターは、「技術、信頼、挑戦」をモットーに、本校の技術に関する専門的業務を円滑にかつ効果的に処理するとともに、技術職員の能力向上、優れた人材の確保、高度な教育研究支援体制の充実に努めることを目的として組織されています。

主な業務 Main functions

- 学生の実験・実習、学生への教育教材の作成、卒業研究・特別研究、教員の研究活動等への技術指導及び教育支援
- 学外との共同研究等への技術支援、新技術開発への技術支援、技術の継承・保存及び技術向上のための研修
- 総合情報センター情報演習設備の管理保守及び学内ネットワークインフラの管理・保守

組織 Organization

実習工場系と教室系（機械・電気情報・環境都市・建築・情報処理）の計 11 名で構成され、各専門分野で技術支援を行っています。

主な設備 Main equipment

技術センターの設備は主に実習工場系職員が担当し、工作実習、創造製作、工学実験をはじめ、各学科の卒業研究、学術研究、ロボットコンテストのロボット制作や、インキュベーションワークなどに利用されています。

工作実習では旋盤やフライス盤など各種工作機械の基本的な加工技術、溶接、鋳造、制御、CNC 工作機械などの教育を行っています。また機械工学科の 4 年次後期には工学総合演習 I として、前期の機械総合演習で設計した作品をグループに分かれて製作を行い、工作実習で習得した様々な技術を活かした集大成ともいえる活動を行っています。

- | | | |
|---------------|------------|-------------|
| ・ 5 軸マシニングセンタ | ・ 立フライス盤 | ・ シャーリングマシン |
| ・ ワイヤ放電加工機 | ・ 立削り盤 | ・ 帯鋸盤 |
| ・ CNC 複合旋盤 | ・ ラジアルボール盤 | ・ 高速切断機 |
| ・ 普通旋盤 | ・ 直立ボール盤 | ・ エアプラズマ切断機 |
| ・ 万能フライス盤 | ・ ホブ盤 | ・ アーク溶接機 |
| ・ 複合フライス盤 | ・ 平面研削盤 | ・ るつぼ炉 |



5 軸マシニングセンタ



ワイヤ放電加工機



CNC 複合旋盤



エネルギー制御工学実験



建設材料実験



構造工学実験



工学総合演習 I 製作発表会



工作実習 (旋盤)

学生寮 Student Dormitory "Rei-yo Ryo"



学生寮「嶺陽寮」は、本校に在籍する通学困難な学生（留学生を含む。）が利用できるように学校敷地内に設置されています。

学校の規律ある管理のもとで（教員と寮生会とが互いに連絡を密にして）、学生に対して快適な日常生活と学習環境を確保しています。「嶺陽寮」は、学内において「課外教育施設」としての役割を果たしており、学生の自主性、友好関係、協調精神を促しながら、将来、社会へ出て行くために必要な積極的な姿勢の育成を目指しています。

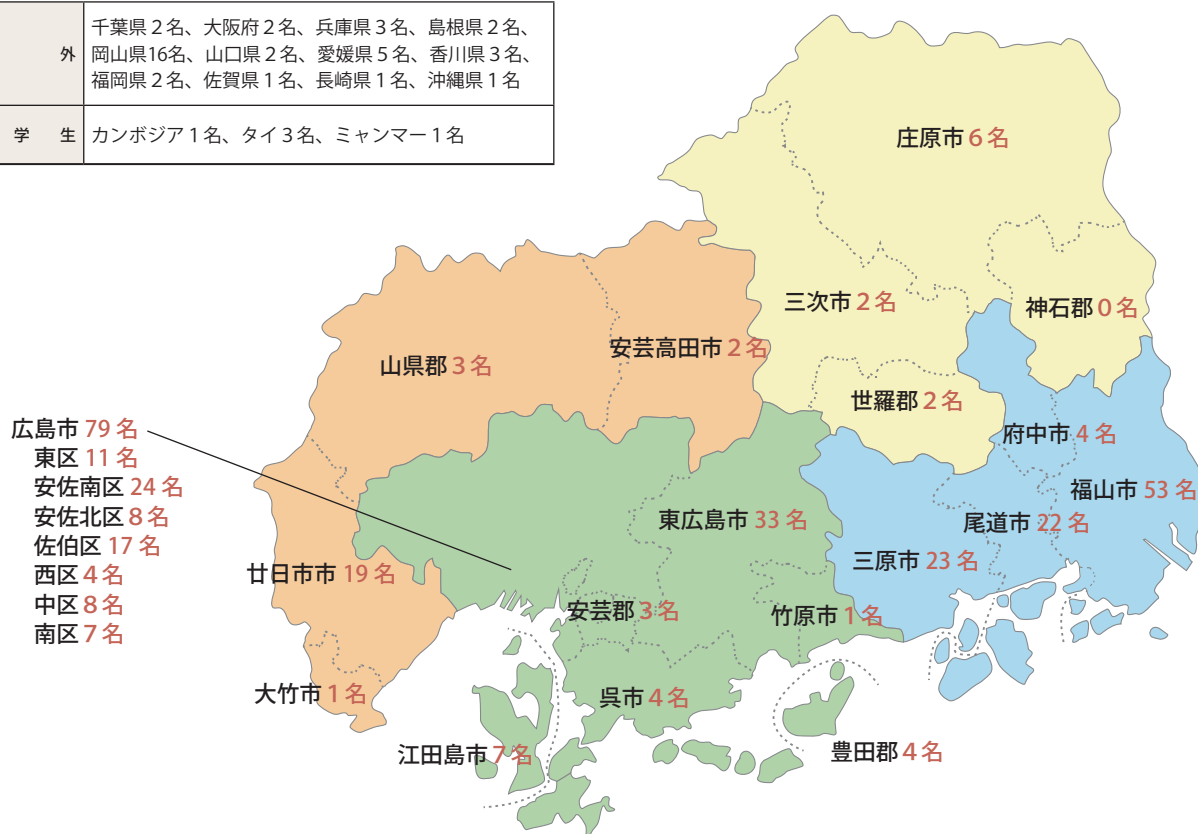
入寮者数 Number of Residents

令和8年4月3日現在

	学 生					合 計
	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
機 械 工 学 科	14 (2)	19 (4)	20 (1)	19 (1)	11 (0)	83 (8)
電 気 情 報 工 学 科	20 (1)	15 (1)	18 (3)	16 (2)	15 (1)	84 (8)
環 境 都 市 工 学 科	15 (6)	10 (2)	15 (6)	12 (3)	9 (1)	61 (18)
建 築 学 科	16 (5)	20 (5)	17 (11)	16 (7)	15 (7)	84 (35)
特 別 聴 講 学 生						1 (1)
寮 生 合 計	65 (14)	64 (12)	70 (21)	63 (13)	50 (9)	313 (70)

() : 女子学生内数

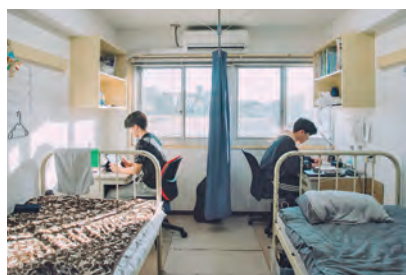
県 外	千葉県2名、大阪府2名、兵庫県3名、島根県2名、岡山県16名、山口県2名、愛媛県5名、香川県3名、福岡県2名、佐賀県1名、長崎県1名、沖縄県1名
留 学 生	カンボジア1名、タイ3名、ミャンマー1名



学生寮経費 Student Dormitory Expenses

学生寮で生活するための諸経費は以下のとおりです。

寄 宿 料		学生寮の宿泊費（部屋代）	二人部屋：月額 700 円 一人部屋：月額 800 円
寮 費	入 寮 費	新入寮生の受入準備品に充てる経費	3,000 円 (入寮時のみ)
	維 持 費	学生寮での日常生活に必要な電気、ガス、水道料、清掃委託費、その他消耗品の購入、軽微な物の修理・修繕等に充てる経費（エアコンに関する経費を含む）	月額 13,000 円 (4月～2月) ※今後の社会情勢により変更の可能性があります。
給 食 費		寮食堂委託業者に支払う経費で、食事材料費と給食維持費（人件費及び光熱水料等）に充当 【食事材料費】 ○日額 900 円（朝食：250 円／昼食：300 円／夕食：350 円） ○給食維持費：月額 12,950 円（4月～2月）	月額 約 39,950 円 (1ヶ月 30 日の月の場合)



居 室



補食談話室



洗面洗濯室

学生寮行事 Student Dormitory events



入寮式



新入寮生歓迎行事



新入寮生歓迎夕食会



寮生指導者研修会



寮 祭



卒業寮生歓送夕食会

図書館 Library



図書館棟

図書館は、学生の勉学、幅広い教養を身に付ける場として、あるいは、教職員の教育研究活動の進展に資するため、活発に利用されています。

蔵書数 Book collections

令和8年3月31日現在

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合 計
区分		総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学	産業	芸術	語学	文学	
図 書	和 書	4,660	3,260	6,631	10,917	12,306	20,833	1,139	3,097	3,272	13,440	79,555
	洋 書	395	473	140	249	811	1,400	24	211	1,983	1,354	7,040
	計	5,055	3,733	6,771	11,166	13,117	22,233	1,163	3,308	5,255	14,794	86,595

開館時間 Opening hours

【授業期】（平日）9:00～20:00 （土曜日）10:00～15:30
 【試験期】（平日）9:00～21:00 （土日祝）10:00～17:30
 【休業期】（平日）9:00～17:00 （土曜日）閉館
 【日曜日、国民の祝日、年末年始】 閉館（試験期を除く）
 ※その他臨時閉館日があります。

利用範囲及びサービス Scope of use and services

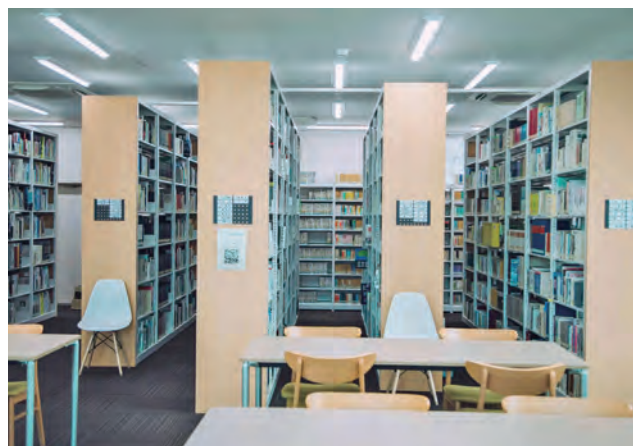
【学生／教職員】
 ○図書館内にある資料の閲覧及び貸出
 ○図書館 WEB サービス（電子ジャーナル等）の利用

貸出冊数・期間 Number and period of books lent

	図 書				雑誌
	授 業 期		休 業 期		
学 生	5 冊以内	14 日以内	5 冊以内	休業期間中	3 冊以内 14 日以内 (最新号は除く)
教 職 員	10 冊以内		※授業期と同じ		

読書推進活動 Reading promotion activities

○購入希望図書 … 学生からの要望を汲み取るため、学生購入希望図書の申し込みを受け付けています。



図書館棟とその周辺 Library Building and Surroundings

図書館棟とその周辺には、パソコン演習室、図書館、学生課、学生談話スペースが設置され、多くの学生が日常的に利用する場所になっています。

図書館棟ロビー Library building lobby

「co-ba KURE-KOSEN」

図書館棟ロビーには、学生達の自主的活動スペースがあります。これは学生同士が刺激し合い自分の殻を破って新しいことにチャレンジする（インキュベート（孵化）する）ことを誘発する空間です。100名以上の学生とプロの空間デザイナーと共にD.I.Yで製作しました。インキュベーションワークの授業と連携しながら、さまざまな取り組みがこの場所で展開され、世界に向けて情報を発信しています。



ショースペース Show Space

呉高专ショースペースには、学生が受賞した賞状やトロフィーを常設展示するとともに、動画により学生の活動を紹介しています。これまでに上映した動画は、「各クラブ活動の紹介」、「新図書館棟の3DCG動画」、「専攻科生がデザインした未来の乗り物」等です。いずれの動画も本校オリジナル作品で、すべて学生自らが制作した動画です。旧来のショールームに代わる新しい情報発信手法として本校学生や来訪者の方にアピールすることを期待しています。



シコウノバ Shikounoba

図書館棟の西側に学生の広場（シコウノバ）があります。この広場は、正方グリッドに合わせて整列した柱が地面に設置されており、柱は自由に抜き差しできるようになっているため、使いやすく空間を変えることができるようになっています。

配置された柱を学生が移動し、イベントを行ったり、対話をする事で、学生の成長と交流をより大きく、広く。そんな思いから生まれた広場です。



プロムナード Promenade

キャンパスの憩いの空間として、図書館棟前の庭をプロムナードに整備しています。歴史を刻んだ樹木とゆるやかな曲線を使った歩道が心地よい空間となっています。



組織 Organization

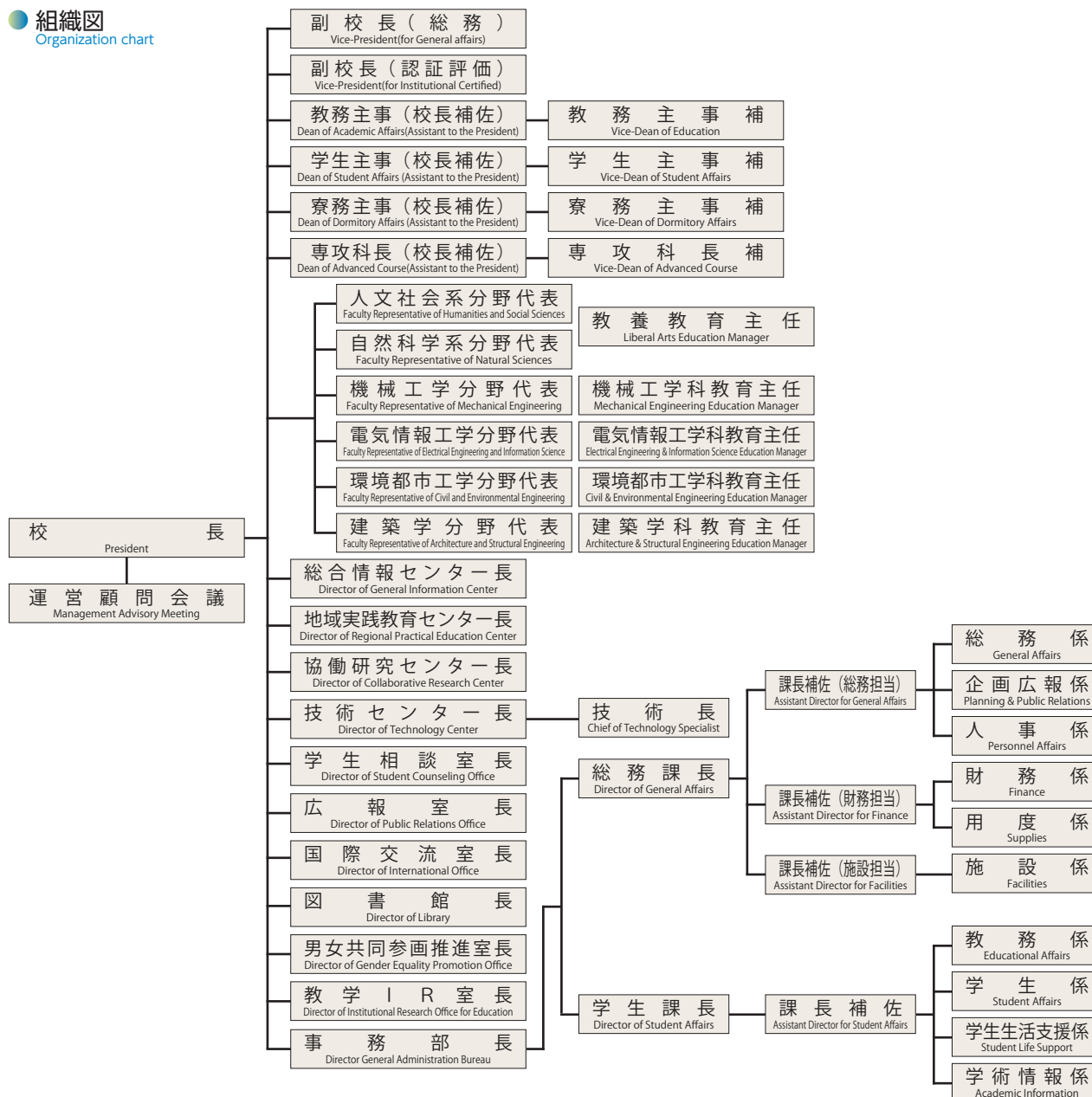
令和8年4月1日

教職員の現員 Current faculty and staff

職 名	教 員						職 員 Staff	合 計
	校 長 President	教 授 Professor	准 教 授 Associate Prof.	講 師 Lecturer	助 教 Assistant Prof.	計		
現 員	1 (0)	25 (0)	19 (3)	1 (1)	9 (1)	54 (5)	38 (17)	92 (22)

() : 女子教職員内数

組織図 Organization chart



主な委員会等 Main committees

総務委員会	自己点検・評価委員会	予算計画部会	施設計画部会
教務委員会	学生指導委員会	寮務委員会	入学者選抜委員会
総合情報センター委員会	地域実践教育センター委員会	協働研究センター委員会	技術センター委員会
国際交流委員会	キャリア教育推進室	情報セキュリティ教育推進室	デジタルエンジニアリング研究室
情報セキュリティ管理委員会	情報セキュリティ推進委員会	知的財産委員会	安全衛生委員会
ハラスメント防止委員会	いじめ対策委員会	研究企画会議	人を対象とする研究倫理委員会

● 役職員 Officers

組	織	氏 名
校 長		由 井 義 通
副 校 長 (総 務)		間 瀬 実 郎
副 校 長 (認 証 評 価)		中 迫 正 一
教 務 主 事 (校 長 補 佐)		河 村 進 一
学 生 主 事 (校 長 補 佐)		佐 賀 野 健
寮 務 主 事 (校 長 補 佐)		黒 川 岳 司
専 攻 科 長 (校 長 補 佐)		大 和 義 昭
人 文 社 会 系 分 野 代 表		—
自 然 科 学 系 分 野 代 表		赤 池 祐 次
機 械 工 学 分 野 代 表		水 村 正 昭
電 気 情 報 工 学 分 野 代 表		藤 井 敏 則
環 境 都 市 工 学 分 野 代 表		堀 口 至
建 築 学 分 野 代 表		松 野 一 成
教 養 教 育 主 任		田 中 慎 一
機 械 工 学 科 教 育 主 任		野 村 高 広
電 気 情 報 工 学 科 教 育 主 任		井 上 浩 孝

組	織	氏 名
環 境 都 市 工 学 科 教 育 主 任		木 村 善 一 郎
建 築 学 科 教 育 主 任		安 箱 敏
総 合 情 報 セ ン タ ー 長		板 東 能 生
地 域 実 践 教 育 セ ン タ ー 長		林 和 彦
協 働 研 究 セ ン タ ー 長		間 瀬 実 郎
技 術 セ ン タ ー 長		間 瀬 実 郎
学 生 相 談 室 長		川 勝 望
広 報 室 長		神 田 佑 亮
国 際 交 流 室 長		神 田 佑 亮
図 書 館 長		板 東 能 生
男 女 共 同 参 画 推 進 室 長		小 倉 亜 紗 美
教 学 I R 室 長		仁 保 裕
事 務 部 長		荒 木 昌 美
総 務 課 長		毛 利 好 孝
学 生 課 長		福 田 宏 治

● 歴代校長 Chronological List of Presidents

氏 名	在 職 期 間
葛 西 重 男	昭和 39 年 4 月 1 日～昭和 50 年 4 月 1 日
佐 藤 重 夫	昭和 50 年 4 月 1 日～昭和 58 年 6 月 1 日
西 正 任	昭和 58 年 6 月 2 日～平成 2 年 3 月 31 日
片 島 三 朗	平成 2 年 4 月 1 日～平成 8 年 3 月 31 日
長 町 三 生	平成 8 年 4 月 1 日～平成 13 年 3 月 31 日
福 永 秀 春	平成 13 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日

氏 名	在 職 期 間
遠 藤 一 太	平成 19 年 4 月 2 日～平成 24 年 3 月 31 日
森 野 数 博	平成 24 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
篠 崎 賢 二	平成 31 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日
餘 利 野 直 人	令和 4 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日
由 井 義 通	令和 8 年 4 月 1 日～

● 名誉教授 Honorary professors

氏 名	氏 名	氏 名
鍋 本 暁 秀	大 林 潤	京 免 進
白 川 洋 二	今 井 勲	野 村 利 英
阿 部 康 俱	石 井 淳 二	藤 井 健
田 邊 達 雄	若 宮 正 明	正 野 崎 昭 二
長 町 三 生	枡 本 紘 二	福 永 秀 春
石 井 義 明	西 村 光 正	岩 根 三 邦
星 健 三	灘 野 宏 正	福 原 安 洋

氏 名	氏 名	氏 名
小 堀 慈 久	谷 岡 憲 三	笠 井 聖 二
川 尻 武 信	宇 根 俊 範	篠 部 裕
岡 中 正 三	森 脇 武 夫	餘 利 野 直 人
河 野 正 来	森 野 数 博	
遠 藤 一 太	篠 崎 賢 二	
左 古 悦 雄	木 原 滋 哉	
植 田 義 文	田 中 誠	

● 運営顧問会議委員 Management advisory board members

氏 名	所 属 ・ 職 名
矢 吹 彰 広	国立大学法人広島大学 工学部長
棚 池 修	国立研究開発法人産業技術総合研究所 中国センター 総括主幹
門 永 吉 章	広島県 商工労働局 イノベーション推進チーム イノベーション環境整備担当課長
土 井 貴 徳	呉市 企画部 企画部長
原 田 忠 則	広島市立瀬野川東中学校長 (広島県中学校教育研究会理科部会長)

氏 名	所 属 ・ 職 名
吉 岡 伸 太 良	五洋建設株式会社 中国支店 総務部長
田 中 忠 博	三菱重工業株式会社 HR 戦略部 広島 HR ビジネスパートナーグループ グループ長
中 原 明 夫	呉工業高等専門学校 同窓会会長
長 田 浩 昌	中国新聞社 呉支社長
土 岐 伸 治	呉工業高等専門学校 後援会会長

教員一覧 List of Faculty

専任教員 Full-time teachers

● 人文社会系分野 Department of Humanities & Social Sciences

職名 Job Title	氏名 Full Name	学位 Degree	専門分野 Specialized field	主な担当科目 Assigned subject	校務 School duties
教授 Prof.	佐賀野 健 SAGANO Takeshi	博士(工学)	スポーツ方法学 保健体育科教育学	体育	学生主事
准教授 Associate Prof.	大森 誠 OMORI Makoto	修士(教育学)	英語教育学	英語／英語表現	教務主事補
	小倉 亜紗美 OGURA Asami	博士(学術)	環境平和学	公共／技術者倫理	男女共同参画推進室長 機械 2 年担任
	菊池 達也 KIKUCHI Tatsuya	博士(文学)	日本史	歴史総合／地理総合	環境都市 2 年担任
	花澤 哲文 HANAZAWA Tetsufumi	博士(文学)	日本近現代文学 日本思想史	現代文／日本文学	建築 2 年担任
	丸山 啓史 MARUYAMA Keishi	博士(教育学)	コーチング学	体育／保健	学生主事補
助教 Assistant Prof.	馬越 夕椰 UMAKOSHI Yuya	修士(教育学)	英語教育学 教師教育	英語	
	形山 羽奈 KATAYAMA Hana	修士(教育学)	英語教育学 英文学	英語	寮務主事補
	鈴木 浩輔 SUZUKI Kousuke	修士(教育学)	英語教育学 応用言語学	英語	

● 自然科学系分野 Department of Natural Sciences

職名 Job Title	氏名 Full Name	学位 Degree	専門分野 Specialized field	主な担当科目 Assigned subject	校務 School duties
教授 Prof.	赤池 祐次 AKAIKE Yuji	博士(理学)	数学	数学／基礎数学	分野代表 機械 1 年担任
	川勝 望 KAWAKATSU Nozomu	博士(理学)	宇宙物理学	数学／基礎数学／数学応用工学	学生相談室長
	田中 慎一 TANAKA Shinichi	博士(理学)	光化学 生物物理学	化学／化学応用工学	教育主任 専攻科長補
	林 和彦 HAYASHI Kazuhiko	博士(工学)	真空・表面研究	物理／物理科学／俯瞰学／ インキュベーションワーク	地域実践教育センター長
	三村 陽一 MIMURA Yoichi	博士(工学)	コンクリート構造	情報リテラシー／コンクリート工学／ 構造力学／設計製図	環境都市 1 年担任
准教授 Associate Prof.	小林 正和 KOBAYASHI Masakazu	博士(理学)	宇宙物理学	物理／物理科学	学生主事補
	松井 俊憲 MATSUI Toshinori	博士(理学)	素粒子論の宇宙論	物理／物理科学／物理応用工学／ 量子力学	電気情報 2 年担任
助教 Assistant Prof.	小野 真彦 ONO Masahiko	博士(理学)	数理統計学	数学／基礎数学	
	都丸 亮太 TOMARU Ryota	博士(理学)	宇宙物理学	数学／基礎数学	
	星長 翔太 HOSHINAGA Shota	博士(理学)	基礎解析学	数学／基礎数学／数学応用工学	建築 1 年担任

● 機械工学分野 Department of Mechanical Engineering

職名 Job Title	氏名 Full Name	学位 Degree	専門分野 Specialized field	主な担当科目 Assigned subject	校務 School duties
教授 Prof.	岩本 英久 IWAMOTO Hidehisa	博士(工学)	経営工学 医療福祉工学	経営工学／システム工学／ 経営マネジメント／福祉工学	機械4年担任
	上寺 哲也 UEDERA Tetsuya	博士(工学)	構造最適化	機械設計概論／総合工学演習Ⅱ／ 機械要素設計	学生主事補
	中迫 正一 NAKASAKO Masakazu	博士(工学)	機械要素	材料力学／機械要素	副校長(認証評価)
	野村 高広 NOMURA Takahiro	博士(工学)	流体工学	流体工学／工学総合演習Ⅱ／ 数値流体工学	教育主任 専攻科長補
	水村 正昭 MIZUMURA Masaaki	博士(工学)	塑性加工	材料学／工学総合演習／ 機械設計製図	分野代表
准教授 Associate Prof.	國安 美子 KUNIYASU Yoshiko	博士(工学)	金属疲労 表面改質		
	山田 祐士 YAMADA Yuji	博士(工学)	制御工学	制御工学／機械設計製図／ 機構学／システム制御	教務主事補
講師 Lecturer	戸田 宏枝 TODA Hiroe	博士(工学)	材料工学	工学実験／工作実習／ 機械設計製図Ⅰ	機械3年担任
助教 Assistant Prof.	松木 弘軌 MATSUGI Kouki	博士(工学)	塑性加工	加工学／CAM／CAE／ 工学総合演習	寮務主事補

● 電気情報工学分野 Department of Electrical Engineering & Information Science

職名 Job Title	氏名 Full Name	学位 Degree	専門分野 Specialized field	主な担当科目 Assigned subject	校務 School duties
教授 Prof.	井上 浩孝 INOUE Hirotaka	博士(工学)	人工知能 機械学習	情報処理／アルゴリズム／ 情報ネットワーク	教育主任 専攻科長補
	板東 能生 BANDO Yoshio	博士(学術)	熱電変換	電気電子材料／電気・電子計測	総合情報センター長 図書館長 電気情報1年担任
	藤井 敏則 FUJII Toshinori	博士(工学)	制御工学	エネルギーネットワーク工学／ 制御工学／シーケンス制御	分野代表
	横沼 実雄 YOKONUMA Mitsuo	工学修士	電気電子材料	エネルギー変換工学／IC設計工学／ パワーエレクトロニクス	電気情報4年担任
准教授 Associate Prof.	服部 佑哉 HATTORI Yuya	博士(工学)	最適化アルゴリズム 数理生物	電気回路／電気数学	教務主事補
	氷室 貴大 HIMURO Takahiro	博士(工学)	電気回路 電磁気学	電気基礎／電気回路	寮務主事補
	平野 旭 HIRANO Akira	博士(工学)	生体情報工学	AI基礎技術演習／信号処理	電気情報5年担任
	横瀬 義雄 YOKOSE Yoshio	博士(工学)	ソフトコンピューティング	情報理論／電気磁気学／ ソフトコンピューティング	
	吉川 祐樹 YOSHIKAWA Yuki	博士(工学)	半導体設計のCAD技術	情報処理／論理回路／ メカトロニクス	機械5年担任
助教 Assistant Prof.	城 明 舜 磨 JOMYO Shumma	修士(工学)	ヒューマンインターフェース インタラクション	情報通信工学実験／通信工学	電気情報3年担任

教員一覧 List of Faculty

● 環境都市工学分野 Department of Civil & Environmental Engineering

職名 Job Title	氏名 Full Name	学位 Degree	専門分野 Specialized field	主な担当科目 Assigned subject	校務 School duties
教授 Prof.	及川 栄作 OIKAWA Eisaku	博士(工学)	環境バイオ工学	遺伝子工学概論／生命科学	環境都市 3 年担任
	河村 進一 KAWAMURA Shinichi	博士(工学)	橋梁工学 防災教育	鋼構造／工学総合演習／ 応用解析法	教務主事
	神田 佑亮 KANDA Yusuke	博士(工学) 技術士(総合技術管理部門) PMP	公共政策 土木・交通計画学	社会基礎計画学／交通計画／ 都市計画	国際交流室長 広報室長
	黒川 岳司 KUROKAWA Takeshi	博士(工学)	環境水理学	水理学／河川工学	寮務主事
	重松 尚久 SHIGEMATSU Takahisa	博士(工学)	建設施工	建築施工／測量／ テラメカニクス	環境都市 5 年担任
	堀口 至 HORIGUCHI Itaru	博士(工学)	コンクリート材料	コンクリート構造／構造力学	分野代表
准教授 Associate Prof.	木村 善一郎 KIMURA Zenichiro	博士(工学)	環境微生物学	水理学／環境生物工学／ 建設材料	教育主任 専攻科長補
	谷川 大輔 TANIKAWA Daisuke	博士(工学)	環境工学		
	中下 慎也 NAKASHITA Shinya	博士(工学) 技術士(建設部門)	海岸工学 環境水理学	土質力学／土木CAD／ 応用水理学	環境都市 4 年担任

● 建築学分野 Department of Architecture & Structural Engineering

職名 Job Title	氏名 Full Name	学位 Degree	専門分野 Specialized field	主な担当科目 Assigned subject	校務 School duties
教授 Prof.	仁保 裕 NIHO Yutaka	博士(工学)	建築構造 骨組構造解析	鋼構造／建築材料／ 建築構造力学	教学IR室長 教務主事補
	間瀬 実郎 MASE Jitsuro	工学博士	建築CAD	造形／CAD・CG／ 環境デザイン	副校長(総務) 協働研究センター長 技術センター長
	松野 一成 MATSUNO Kazunari	博士(工学)	耐震構造	鉄筋コンクリート構造／ 建築材料／建築生産	分野代表 寮務主事補
	大和 義昭 YAMATO Yoshiaki	博士(学術) 一級建築士	建築環境	建築環境工学／建築工学実験／ 工学総合演習	専攻科長
准教授 Associate Prof.	安 箱敏 AHN Sangmin	博士(学術)	建築設計 建築計画	インテリア計画／建築意匠／ デザイン基礎	教育主任 建築 5 年担任
	三枝 玄希 MIEDA Genki	博士(工学)	建築材料 建築構造	建築構造力学／建築材料／ 建築防災工学	建築 4 年担任
助教 Assistant Prof.	河崎 啓太 KAWASAKI Keita	修士(工学) 一級建築士 建築設備士	建築設備	建築設備／建築設計製図／ 福祉住環境	建築 3 年担任

● 再雇用教員 Re-employed Faculty

職名 Job Title	氏名 Full Name	学位 Degree	主な担当科目 Assigned subject
嘱託教授	篠 部 裕 SHINOBE Hiroshi	博士(工学) 一級建築士 技術士(建設部門)	建築学入門／都市計画／ 建築法規

● 特命教員 Specially Appointed Faculty

職名 Job Title	氏名 Full Name	学位 Degree
特命教授	黒 木 太 司 KUROKI Futoshi	工学博士

● 非常勤講師 Part-time Faculty

氏名 Full Name	担当科目 Assigned subject	氏名 Full Name	担当科目 Assigned subject
荒 本 達 也 ARAMOTO Tatsuya	工学総合演習Ⅱ	谷 村 仰 仕 TANIMURA Takashi	インキュベーションワーク／倫理学／ プロジェクトデザイン入門／芸術／建築計画Ⅱ
アンソニー ネピア Anthony NEPIA	英語表現Ⅲ・Ⅳ	田 原 智 治 TAHARA Tomoharu	数学Ⅱ／基礎数学Ⅱ
池 田 雅 弘 IKEDA Masahiro	熱工学Ⅰ・Ⅱ	辻 翔 吾 TSUJI Shogo	体育Ⅰ・Ⅱ
石 川 晋 次 ISHIKAWA Shinji	建築設計製図Ⅲ	寺 岡 文 照 TERAOKA Fumiteru	化学Ⅲ・Ⅳ
石 本 百合子 ISHIMOTO Yuriko	日本語表現力基礎／現代文Ⅰ／ 古典文学Ⅰ・Ⅱ	寺 重 隆 視 TERASHIGE Takashi	電気工学
浦 田 岬 URATA Misaki	基礎数学Ⅱ	戸 川 幸一郎 TOGAWA Koichiro	芸術
大 橋 晶 良 OHASHI Akiyoshi	環境工学／水環境工学Ⅰ／ 環境保全	床 島 広 昭 TOKOSHIMA Hiroaki	エネルギー発生工学Ⅰ
大 村 拓 志 OMURA Takushi	防災工学Ⅰ・Ⅱ	中 井 真 司 NAKAI Shinji	防災工学Ⅰ・Ⅱ
大 村 悠 真 OMURA Yuma	体育Ⅳ	成 瀬 裕 治 NARUSE Yuji	エネルギー発生工学Ⅱ
尾 川 茂 OGAWA Shigeru	機械工学Ⅰ・Ⅱ／熱工学Ⅲ／熱環境／先端工学／ 計測工学／高度専門特別講義Ⅲ(振動工学)	花 本 大 作 HANAMOTO Daisaku	建築設計製図Ⅲ・Ⅴ
加 川 遥 日 KAGAWA Haruka	日本語表現力基礎／現代文Ⅱ	林 健次郎 HAYASHI Kenjiro	建築設計製図Ⅲ／ 工学総合演習Ⅱ
鍵 山 昌 信 KAGIYAMA Yoshinobu	建築設計製図Ⅳ・Ⅴ／ 建築設計演習	平 井 一 樹 HIRAI Kazuki	エネルギー発生工学Ⅰ
笠 本 晃 代 KASAMOTO Teruyo	英語Ⅴ・Ⅵ	藤 本 義 彦 FUJIMOTO Yoshihiko	公共Ⅰ・Ⅱ
香 村 慶 太 KAMURA Keita	第二外国語(中国語)Ⅰ・Ⅱ	穂 垣 友 康 HOGAKI Tomoyasu	工学総合演習Ⅰ
金 澤 寛 KANAZAWA Yutaka	応用数学	松 井 均 MATSUI Hitoshi	防災工学Ⅰ・Ⅱ
黒 木 太 司 KUROKI Futoshi	電気磁気学Ⅰ・Ⅱ／電気回路Ⅴ・Ⅵ／ 通信工学Ⅰ・Ⅱ／電磁界理論	宮 崎 翔 平 MIYAZAKI Shohei	ライフサイエンス・アース サイエンス(生物)
小 松 未 奈 美 KOMATSU Minami	日本語・日本語事情	向 山 徹 MUKOUYAMA Toru	エネルギー発生工学Ⅰ
佐々木 佑二郎 SASAKI Yujiro	ライフサイエンス・アース サイエンス(地学)	森 脇 武 夫 MORIWAKI Takeo	実験実習Ⅲ(土質)／ 土質工学Ⅲ・Ⅳ
瀬 良 博 美 SERA Hiromi	造形Ⅰ	山 下 ユ キ コ YAMASHITA Yukiko	化学Ⅲ・Ⅳ
田 中 誠 TANAKA Makoto	電気数学Ⅰ・Ⅳ	山 中 靖 彦 YAMANAKA Yasuhiko	建築生産Ⅱ／建築法規Ⅰ
谷 川 大 輔 TANIKAWA Daisuke	建築史Ⅰ～Ⅲ	渡 邊 英 幸 WATANABE Hideyuki	体育Ⅲ
谷 村 愛 子 TANIMURA Aiko	芸術		

在学状況等 Enrollment status

令和8年4月1日

● 学生の定員及び現員 ＜本科＞

Quota and current enrollment

学 科	区 分	入学 定員	総定員	在学学生数					合計
				1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	
機 械 工 学 科		40	200	41 (8)	41 (7)	47 (6)	42 (4)	40 (2)	211 (27)
電気情報工学科		40	200	43 (5)	41 (5)	45 (9)	44 ^[1] ₍₉₎	41 ^[1] ₍₄₎	214 ^[2] ₍₃₂₎
環境都市工学科		40	200	43 (18)	42 (12)	42 ^[1] ₍₁₅₎	39 ^[1] ₍₉₎	43 (13)	209 ^[2] ₍₆₇₎
建 築 学 科		40	200	40 (19)	42 (15)	43 (25)	39 (16)	41 (20)	205 (95)
合 計		160	800	167 (50)	166 (39)	177 ^[1] ₍₅₅₎	164 ^[2] ₍₃₈₎	165 ^[1] ₍₃₉₎	839 ^[4] ₍₂₂₁₎

() : 女子学生内数 [] : 留学生内数

● 学生の定員及び現員 ＜専攻科＞

Quota and current enrollment

令和8年4月1日

専 攻 科	区 分	入学 定員	総定員	在学学生数		
				1 学年	2 学年	合計
プロジェクト デザイン工学		40	80	29 (4)	33 (5)	62 (9)

() : 女子学生内数

● 通学状況別学生数 Students by commuting status

Students by commuting status

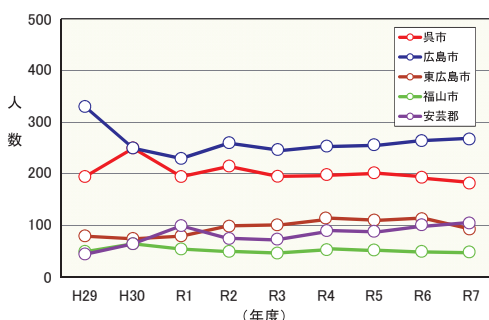
令和7年4月1日

区 分	学 年	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	専攻科	合計
自宅・その他		102 (36)	102 (27)	107 (34)	101 (25)	115 (30)	62 (9)	589 (161)
学 生 寮		65 (14)	64 (12)	70 (21)	63 (13)	50 (9)	0 (0)	312 (69)
合 計		167 (50)	166 (39)	177 (55)	164 (38)	165 (39)	62 (9)	901 (230)

() : 女子学生内数

● 出身地別学生数 Students by hometown

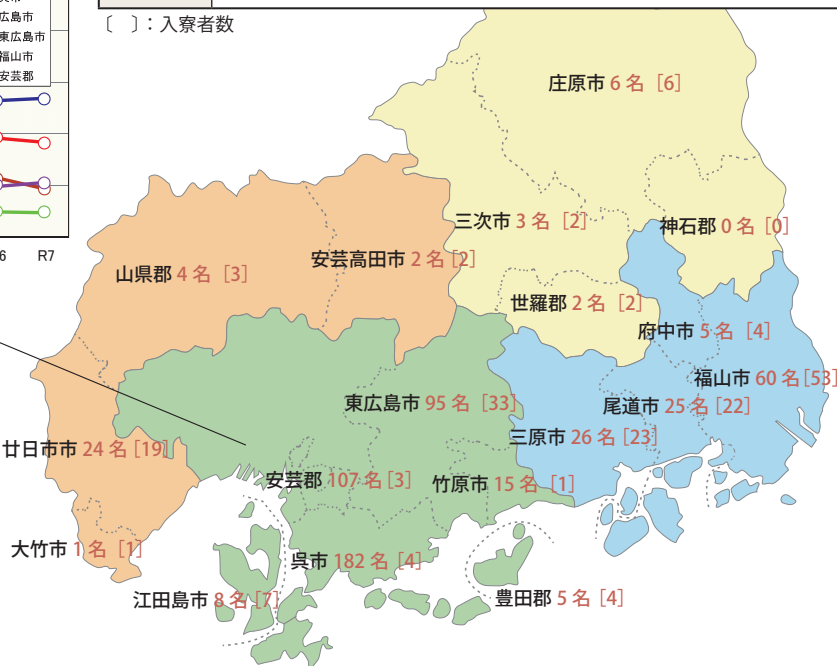
Students by hometown



広島市 279 名 [79]
中区 19 名 [8]
東区 43 名 [11]
南区 45 名 [7]
西区 35 名 [4]
安佐南区 52 名 [24]
安佐北区 14 名 [8]
安芸区 40 名 [0]
佐伯区 31 名 [17]

県 外	東京都1名(0)、千葉県2名(2)、滋賀県1名(0)、大阪府2名(2)、兵庫県4名(3)、島根県2名(2)、岡山県16名(16)、山口県4名(2)、香川県3名(3)、愛媛県8名(5)、福岡県2名(2)、長崎県1名(1)、佐賀県1名(1)、沖縄県1名(1)
留 学 生	カンボジア1名(1)、ミャンマー1名(1)、タイ2名(2)

[] : 入寮者数



入学選抜実施状況 Admission Screening

● 本 科
Regular Courses

年度	学 科 名	入学 定員	特別推薦		一般推薦			学力検査			入学者
			志願者	合格者	志願者	合格者	倍率	志願者	合格者	倍率	
令和6年度	機 械 工 学 科	40	5 (1)	5 (1)	43 (4)	17 (4)	2.5	38 (1)	23 (1)	1.7	43 (5)
	電気情報工学科	40	5 (1)	5 (1)	56 (9)	17 (4)	3.3	38 (7)	23 (4)	1.7	45 (9)
	環境都市工学科	40	1 (0)	1 (0)	31 (17)	20 (14)	1.6	25 (5)	20 (2)	1.3	39 (15)
	建 築 学 科	40	7 (6)	7 (6)	51 (28)	15 (14)	3.4	41 (13)	21 (5)	2.0	43 (25)
	合 計	160	18 (8)	18 (8)	181 (58)	69 (36)	2.6	142 (26)	87 (12)	1.6	170 (54)
令和7年度	機 械 工 学 科	40	5 (1)	5 (1)	45 (7)	17 (5)	2.6	37 (4)	22 (2)	1.7	43 (7)
	電気情報工学科	40	6 (3)	6 (3)	29 (2)	16 (2)	1.8	30 (3)	20 (2)	1.5	40 (5)
	環境都市工学科	40	4 (2)	4 (2)	38 (12)	17 (8)	2.2	36 (4)	23 (2)	1.6	43 (12)
	建 築 学 科	40	4 (2)	4 (2)	41 (16)	17 (8)	2.4	29 (9)	20 (5)	1.5	41 (15)
	合 計	160	19 (8)	19 (8)	153 (37)	67 (23)	2.3	132 (20)	85 (11)	1.6	167 (39)
令和8年度	機 械 工 学 科	40	6 (3)	6 (3)	44 (5)	16 (4)	2.8	41 (3)	23 (1)	1.8	39 (8)
	電気情報工学科	40	6 (1)	6 (1)	51 (7)	17 (3)	3.0	40 (2)	21 (1)	1.9	43 (5)
	環境都市工学科	40	6 (2)	6 (2)	39 (16)	17 (11)	2.3	30 (8)	20 (5)	1.5	42 (18)
	建 築 学 科	40	8 (3)	8 (3)	40 (18)	14 (9)	2.9	33 (13)	21 (8)	1.6	40 (19)
	合 計	160	26 (9)	26 (9)	174 (46)	64 (27)	2.7	144 (26)	85 (15)	1.7	164 (50)

() : 女子学生内数

● 専攻科
Advanced Course

年度	専 攻	入学 定員	試験種類	志願者 (計)	合格者 (計)	倍率	入学者 (計)
令和6年度	プロジェクトデザイン工学	40	推 薦	21 (0)	19 (0)	1.2	19 (0)
			学 力	32 (3)	25 (2)		11 (0)
			社会人	0	0		0
令和7年度	プロジェクトデザイン工学	40	推 薦	26 (4)	25 (4)	1.1	25 (4)
			学 力	25 (5)	21 (4)		8 (1)
			社会人	0	0		0
令和8年度	プロジェクトデザイン工学	40	推 薦	21 (2)	19 (2)	1.4	19 (2)
			学 力	30 (3)	17 (2)		10 (2)
			社会人	0	0		0

() : 女子学生内数

● 本科4年次編入
Transfer to Regular Course in Year 4

年度	学 科 名	入学 定員	志願者	合格者	入学者
令和7年度	機 械 工 学 科	若干名	1 (0)	1 (0)	1 (0)
	電気情報工学科	若干名	1 (1)	0	0
	環境都市工学科	募集なし	-	-	-
	建 築 学 科	若干名	1 (0)	1 (0)	1 (0)
	合 計		3 (1)	2 (0)	2 (0)
令和8年度	機 械 工 学 科	若干名	0	0	0
	電気情報工学科	若干名	3 (0)	0	0
	環境都市工学科	若干名	0	0	0
	建 築 学 科	若干名	1 (1)	0	0
	合 計		4 (1)	0	0

() : 女子学生内数

修学経費等 Study expenses

● 修学経費
Study expenses

令和8年度入学者

入学料	授業料	教科書・ 教具等	制服代	学生会 入会金	学生会費	後援会費	合 計
84,600 円	234,600 円	約 70,000 円	約 100,000 円	500 円	6,000 円	35,000 円	約 530,700 円

○授業料：入学から在籍 36 ヶ月までは就学支援金が支給

● 授業料減免者数
Number of tuition exemptions

高等学校等就学支援金（1～3 学年対象）

年 度	区 分	1 学年	2 学年	3 学年
令和 6 年度	加算有り	55	64	61
	加算無し	80	55	64
	対象外	40	42	54
令和 7 年度	加算有り	42	58	56
	加算無し	125	118	100
	対象外	1	1	7

高等教育の修学支援新制度による授業料等減免（4・5 学年、専攻科生対象）

区 分	令和 6 年度		令和 7 年度	
	前 期	後 期	前 期	後 期
I（満額）	20	23	13	13
II（2/3）	12	13	11	12
III（1/3）	10	5	4	7
IV（1/4）	3	3		
多子（満額）			84	87
合 計	45	44	112	119

※高等学校等就学支援金（1～3 年）は、令和 8 年度から、一定の条件を満たした学生は授業料全額支援対象となりました。

※第Ⅳ（多子）区分は令和 6 年度より開始された区分です。

※多子区分は、令和 7 年度より開始された区分です。

● 奨学生数
（日本学生支援機構奨学金）
Number of scholarship students
(Japan Student Services Organization scholarship)

年度	区分	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	専攻科 1 学年	専攻科 2 学年	合 計
令和 5 年度	第一種	4	2	1	4	4	0	1	16
	第二種				1	2	0	1	4
	給付				21	11	1	5	38
	計	4	2	1	26	17	1	7	58
令和 6 年度	第一種	2	4	3	4	7	1	0	21
	第二種				3	2	1	0	6
	給付				17	26	3	2	48
	計	2	4	3	24	35	5	2	75
令和 7 年度	第一種	0	1	4	4	4	0	1	14
	第二種				2	3	2	2	9
	給付				52	49	17	9	127
	計	0	1	4	58	56	19	12	150

※第二種奨学金（有利息）及び給付奨学金は、4 学年・5 学年・専攻科が対象

進路状況 Career course

● 令和 7 年度卒業生・修了者 Graduates of 2025/26

区 分		卒業生・ 修了者数	進学者	就 職					その他
				就職希望者数	求人数	就職者数	求人倍率	就職率	
本 科	機械工学科	42 (4)	24 (1)	18 (3)	676	18 (3)	37.6	100%	0
	電気情報工学科	39 (4)	29 (3)	10 (1)	689	10 (1)	68.9	100%	0
	環境都市工学科	44 (11)	15 (3)	26 (8)	515	26 (8)	19.8	100%	3
	建築学科	44 (20)	20 (6)	24 (14)	506	24 (14)	21.1	100%	0
	合計	169 (39)	88 (13)	78 (26)	2386	78 (26)	30.6	100%	3
専攻科	プロジェクトデザイン工学	31 (0)	17 (0)	13 (0)	705	13 (0)	54.2	100%	1
	合計	31 (0)	17 (0)	13 (0)	705	13 (0)	54.2	100%	1

()：女子学生内数

進学状況 Advancement to Further Studies

● 大学編入学及び専攻科入学状況 University Transfer / Advanced Course Admission Status

大学名		卒業年度					
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
国立大学	北海道大学		1		1		1
	室蘭工業大学					1	
	東北大学			1			1
	筑波大学	2					1
	千葉大学		2	2	2	2	1
	東京大学	1			1	1	
	東京農工大学	1	1			1	1
	電気通信大学	1		1	1		
	横浜国立大学	1	1			2	3
	長岡技術科学大学	3	5	3	7	1	4
	山梨大学						1
	信州大学		1				1
	金沢大学						1
	名古屋工業大学				1		
	豊橋技術科学大学	1	4	3	3	5	11
	愛知教育大学				1		

大学名		卒業年度					
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
国立大学	三重大学			1			
	京都工芸繊維大学	1		1		1	2
	大阪大学		1	1			2
	神戸大学						1
	奈良女子大学				2		1
	島根大学		2				1
	岡山大学	2	1	2	1	1	1
	広島大学	5	3	2	2	2	6
	山口大学			2	1	1	1
	香川大学		1		1		1
	愛媛大学			1		1	2
	高知大学		1				1
	九州大学	5	3	4	4	2	3
	九州工業大学	3	2				1
	熊本大学	1	1	2	2	5	2
	小計	27	30	26	30	26	51
公立大学計			1	3	1		3
私立大学計		2			3		5
呉高専専攻科		36	47	40	29	32	29
その他高専専攻科							
海外				1			
合計		65	78	70	63	58	88

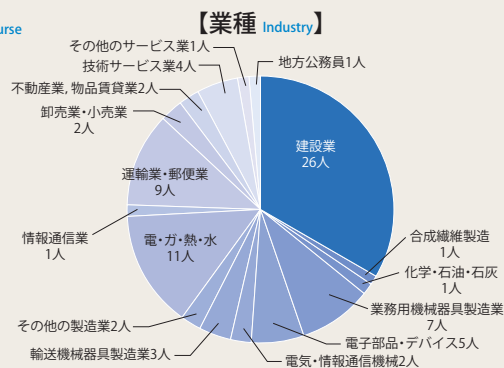
● 大学院入学状況 Graduate School Admission Status

大学名		修了年度					
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
国立大学	北海道大学	1				1	1
	東北大学	1	1	2	1	2	1
	筑波大学	2		1		1	1
	千葉大学		1				
	総合研究大学院大学	1					
	電気通信大学				2		
	東京医科歯科大学				1		
	長岡技術科学大学	1		1			2
	信州大学		1		1		
	豊橋技術科学大学			2		1	1
	京都工芸繊維大学				1	1	

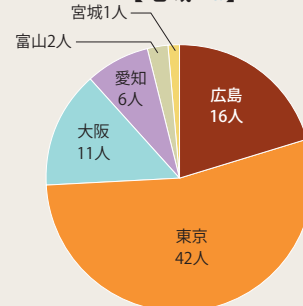
大学名		修了年度					
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
国立	奈良先端科学技術大学院大学		1	1		2	1
	広島大学	5		1	1	5	9
	山口大学			1	1		
	九州大学		1		1		
	九州工業大学		1		3	2	
	熊本大学						1
公立	東京都立大学(首都大学東京)				1		
	兵庫県立大学			1			
私立	早稲田大学	1			1		
	福岡大学				1		
合計		12	6	10	15	15	17

就職状況 (令和7年度) Employment Situation in 2025/26

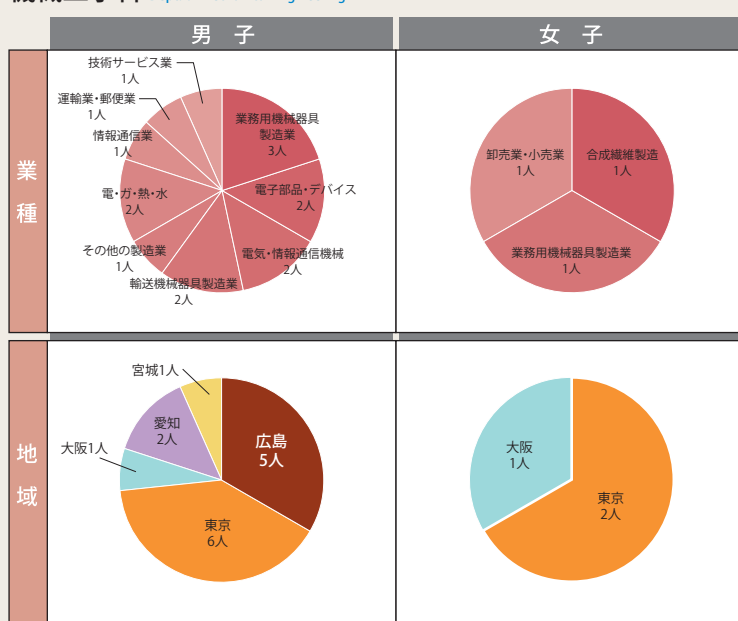
● 本科 Main Course



【地域 Area】



● 機械工学科 Dept. of Mechanical Engineering

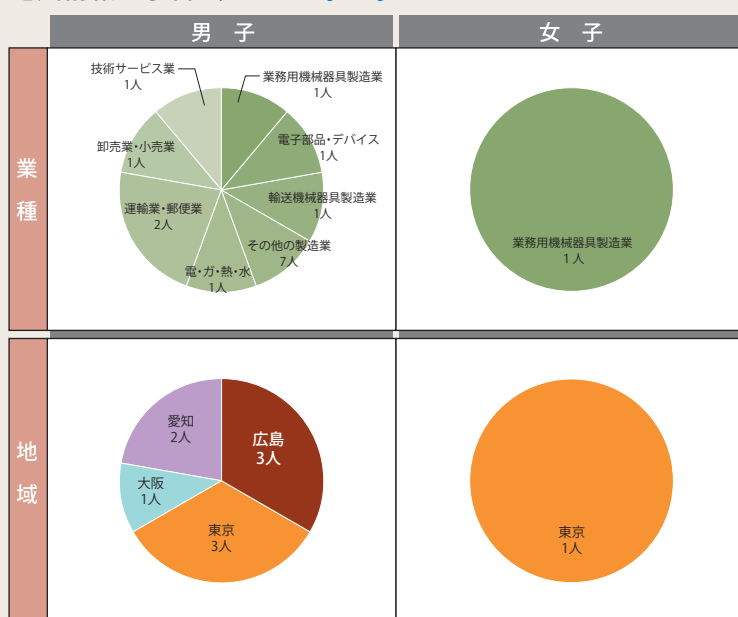


最近の主な就職先 Recent main employers

- ・ IHI運搬機械
- ・ アイリスオーヤマ
- ・ 中部電力
- ・ 電源開発
- ・ 東海旅客鉄道
- ・ 東レ
- ・ ニコン
- ・ 日本精工
- ・ ニプロ
- ・ HIVEC
- ・ パナソニック
- ・ パナソニックエンターテインメント&コミュニケーション
- ・ マツダ
- ・ 三菱重工業
- ・ ローゼ

※50 音順

● 電気情報工学科 Dept. of Electrical Engineering & Information Science



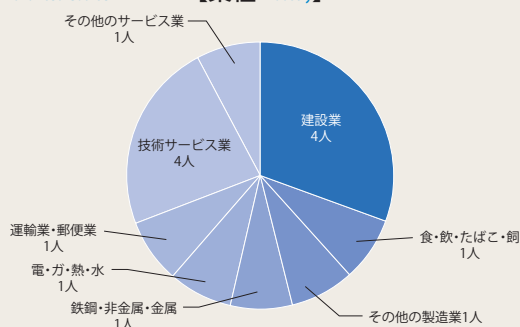
最近の主な就職先 Recent main employers

- ・ アークレイ
- ・ アプライドマテリアルズジャパン
- ・ 関西電力送配電
- ・ 小松開発工業
- ・ JFEプラントエンジニア
- ・ 中国電力ネットワーク
- ・ 中部電力
- ・ デンソーエレクトロニクス
- ・ トーテックアメニティ
- ・ 西日本旅客鉄道
- ・ 日本IBM
- ・ 日本貨物鉄道
- ・ マツダ
- ・ マツダE&T
- ・ 三菱電機電子通信システム製作所

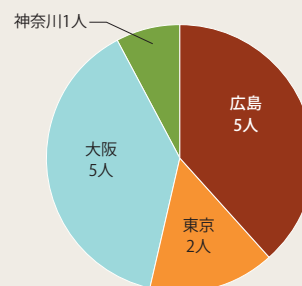
※50 音順

● 専攻科 Advanced Course

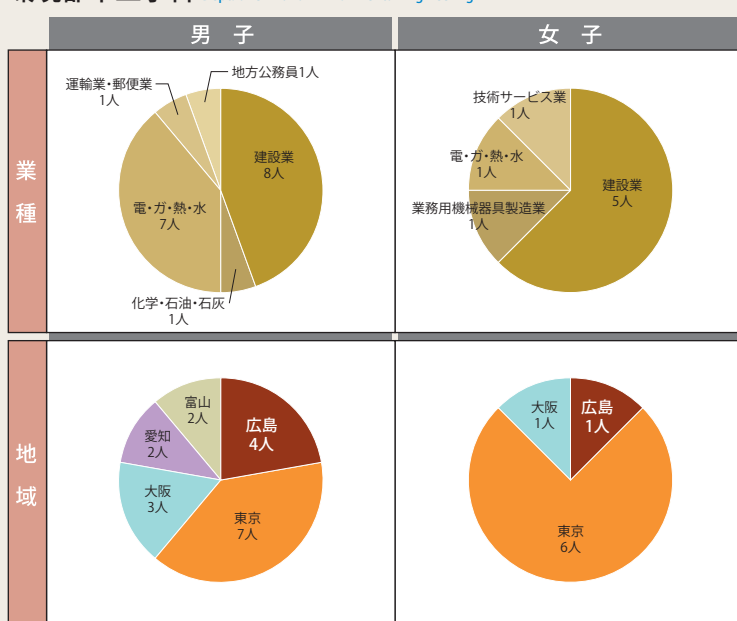
【業種 Industry】



【地域 Area】



● 環境都市工学科 Dept. of Civil and Environmental Engineering



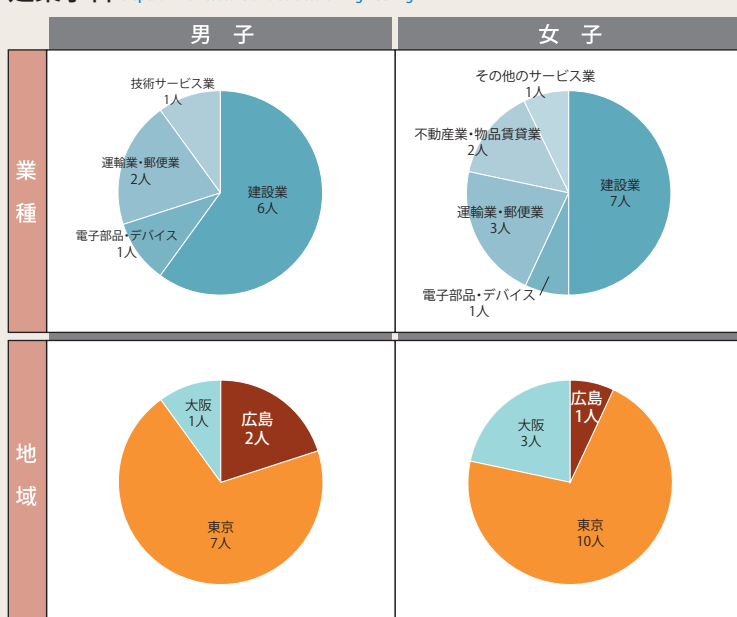
最近の主な就職先

Recent main employers

- ・NTTインフラネット
- ・関西電力
- ・極東興和
- ・ショーボンド建設
- ・JR西日本レールテック
- ・中国電力
- ・中部電力
- ・電源開発
- ・東京ガスネットワーク
- ・東京水道
- ・東京電力ホールディングス
- ・広島県庁
- ・フソウ
- ・山崎建設
- ・若築建設

※50 音順

● 建築学科 Dept. of Architecture and Structural Engineering



最近の主な就職先

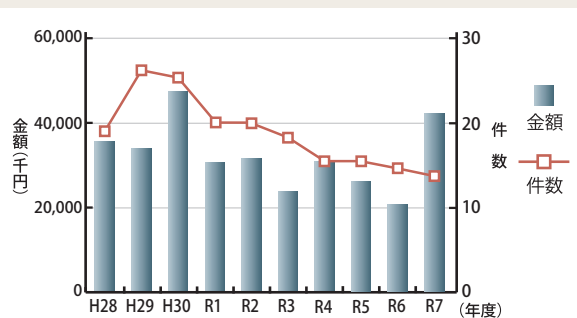
Recent main employers

- ・あい設計
- ・鹿島建設
- ・熊谷組
- ・五洋建設
- ・三建設備工業
- ・ジョンソンコントロールズ
- ・創建ホーム
- ・大成建設
- ・ダイスネクスト
- ・東急電鉄
- ・西日本高速道路
- ・西日本旅客鉄道
- ・日本ERI
- ・長谷工コーポレーション
- ・三菱地所レジデンス

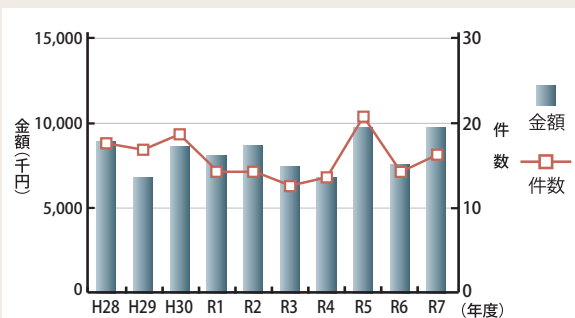
※50 音順

教員の研究活動の推移 Faculty Research Activities

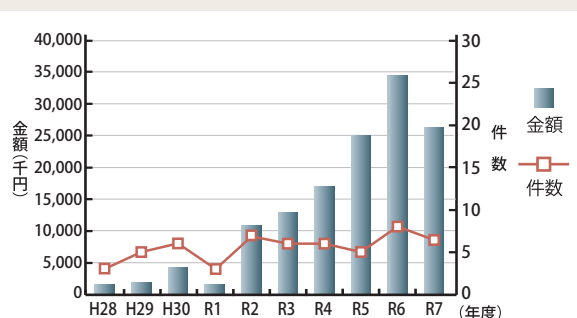
● 科学研究費 Grant-in-Aid for Scientific Research



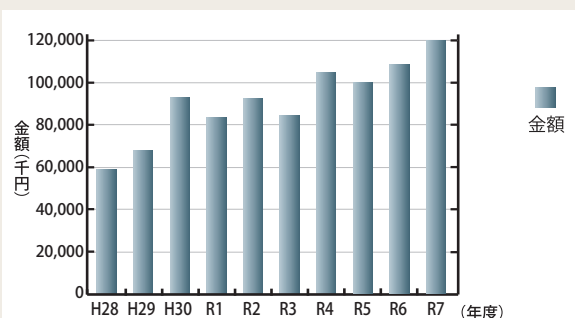
● 共同研究 Joint Research



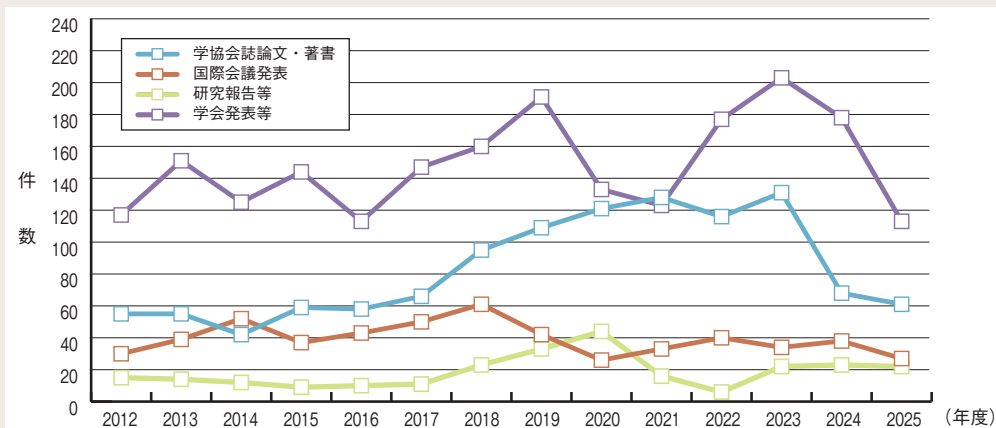
● 受託研究 Contract Research



● 外部資金計 External funding total



● 研究実績 Research Achievements

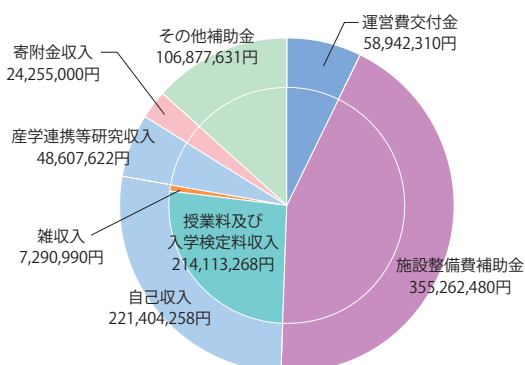


収入支出決算額 Income/Expenditure Settlements

● 令和6年度収入決算額

Income settlement amount FY2024/25

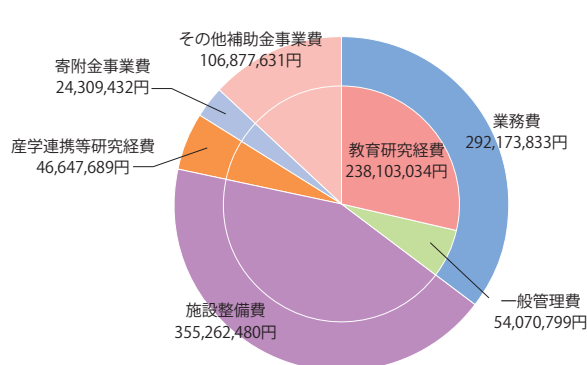
合計 815,349,301 円



● 令和6年度支出決算額

Expenditure settlement amount FY2024/25

合計 825,271,065 円



施設の概要 Facility Overview

敷地 Site

総面積	校舎・学寮等敷地				職員宿舎敷地
	校舎敷地	運動場敷地	学寮敷地	計	
100,690㎡	53,697㎡	36,510㎡	8,317㎡	98,524㎡	2,166㎡



50周年記念時計台モニュメント
50th Anniversary Clock Tower Monument

施設配置図 Facility Layout



建物 Buildings

区	分	建面積	延面積
校舎	普通教室	585	1,762
	第二普通教室	212	665
	機械工学科	591	1,765
	電気情報工学科	591	1,765
	建築学科	591	1,765
	環境都市工学科	607	2,365
	専攻科	313	954
	実習工場(技術センター)	660	660
	基礎工学実験室	51	92
	協働研究センター	364	1,426
	その他	279	279
図書館	図書館棟	1,137	2,049
管理部	管理棟	519	1,550
	守衛所	17	17
	設備室	224	224
	電気室	28	28
	その他	890	890

区	分	建面積	延面積
屋内運動場	体育館	1,184	1,184
	第二体育館	888	888
	武道場	399	399
	その他	482	482
	計	—	29,308
福利厚生施設	食堂	302	302
	合宿研修施設	234	234
	福利施設(静心館)	—	629
寄宿舍	第一寮	436	1,283
	第二寮	681	2,967
	第四寮	290	868
	第五寮	110	326
	第六寮	234	719
	寮食堂・浴室	608	608
	その他	163	163

呉市の紹介

Introduction to Kure City



呉市は、瀬戸内海のほぼ中央部、広島県の南西部に位置し、瀬戸内海に面する陸地部と、倉橋島や安芸灘諸島などの島しょ部で構成される気候温和で自然環境に恵まれた都市です。

面積は 352.04km² で、陸地部と島しょ部（倉橋島、鹿島、下蒲刈島、上蒲刈島、豊島及び大崎下島）は、架橋により陸続きとなっています。また、市域は東西方向に約 38.7km、南北方向に約 33.1km と広がっており、約 300km の海岸線を有しています。

市域全体を通じて平たん地が少なく、野呂山、灰ヶ峰、七国見山、火山を始め、標高 300m から 800m 前後の山が連なり、地域が分断された地形となっています。一方、こうした地形から山と海の風光明媚な自然に恵まれ、瀬戸内の美しい島々や多彩な峡谷美の景観は、貴重な観光資源として、また、市民の憩いとレクリエーションの場としても親しまれています。

平成 17 年（2005 年）4 月に開館した、明治以降の呉の歩みと科学技術の素晴らしさを語り継ぐ呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）は、博物館としての更なる魅力向上を図るため、令和 8 年（2026 年）4 月にリニューアルオープンし、来館者が 1,700 万人を突破するなど多くの来館者を迎えています。

そして現在、世界一魅力的な「呉」を目指して様々な取組を進めています。

呉駅周辺地域総合開発では、呉駅周辺地域全体を総合交通拠点として捉え、既存の駅前広場を 1 階は交通ターミナルに、2 階はデッキ広場に再整備し、市全体の交通まちづくりとなる、次世代モビリティや防災拠点にも対応した機能整備を推進しています。

また、幸町地区では、戦前は海軍下士官兵集会所、戦後は海上自衛隊の福利厚生施設などとして親しまれた青山クラブや、呉市立美術館などが所在しており、同地区を「歴史及び文化・芸術の拠点」として再整備します。

さらに、音戸の瀬戸公園では、眺望と自然の魅力を感じながら心地よく過ごせるよう環境を整え、民間事業者によるラグジュアリーホテルや飲食施設の整備と調和した空間づくりを行い、市民や国内外からの来園者がくつろぎ、ゆったりと滞在できる公園の整備を進めています。

このほか、呉市と広島大学の「海洋・海事」ネットワークによる国際的な教育研究活動拠点の形成や、「少子化対策（保育料の全年齢無償化）」、「企業誘致・留置対策」、「定住促進」の 3 つを柱とする人口戦略対策にも力を入れています。



10 分の 1 戦艦「大和」（大和ミュージアム）



呉駅周辺の総合開発



幸町地区の整備イメージ

呉市の歴史 History of Kure City

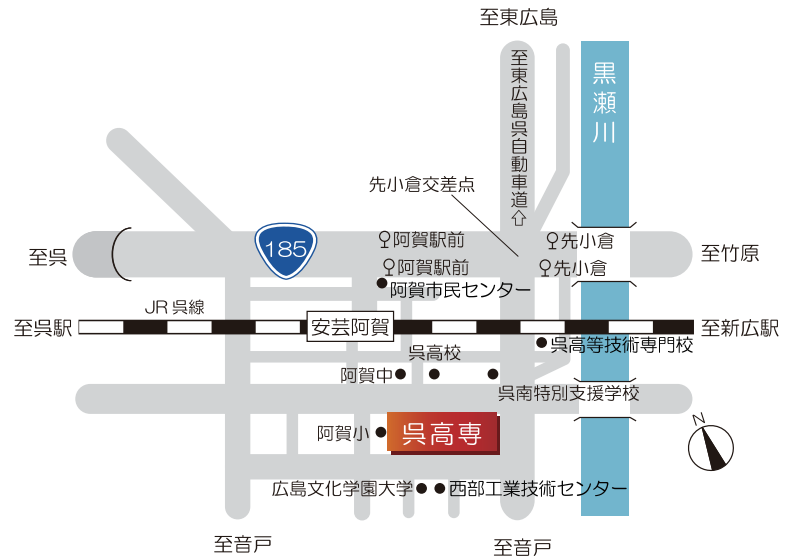
明治 22 年（1889 年）の海軍鎮守府開庁を機に本格的な市街地の形成が進められた呉市は、明治 35 年（1902 年）10 月 1 日に、全国で 55 番目に市制を施行し、最盛期の昭和 18 年（1943 年）には人口 40 万人を超える日本一であり世界でも有数の海軍工廠を擁するまちに発展しました。

終戦による海軍の解体とともに、人口も 15 万人に激減しましたが、昭和 25 年（1950 年）の平和産業港湾都市への再生を目指す「旧軍港市転換法」の制定により、造船、鉄鋼、機械金属、パルプ産業等の企業が進出し、瀬戸内有数の臨海工業地帯としての基盤を確立し、広島県の産業を牽引しています。また、平成 15 年（2003 年）から 17 年（2005 年）にかけて、近隣 8 町と合併したことにより、柑橘類の生産やかき養殖などの農水産業も盛んとなり、さらに半導体関連企業や IT 企業などの多彩な業種が産業を支えています。

平成 30 年（2018 年）7 月豪雨災害からの着実で力強い復興を推し進めるだけでなく、呉市ならではの特性と最先端の ICT など融合させた取組を進めるとともに、AI をあらゆる分野で積極的に活用し、より質の高い市民サービスを提供するなど、誰もが住み続けたい、行ってみたい、人を惹きつけるまち「くれ」～イキイキと働き、豊かに安心して暮らし、ワクワク生きる～の実現を目指しています。

本校へのアクセス

Access Map



交通案内 Traffic guide

▶▶交通機関をご利用の場合 By public transport

- JR呉線安芸阿賀駅下車 徒歩約10分
- 広島電鉄バス「先小倉」「阿賀駅前」下車、徒歩約10分

▶▶お車でのお越しの場合 By car

- 【広島方面から】広島呉道路(クレアライン)呉ICより20分
- 【東広島方面から】東広島呉道路、先小倉交差点より3分
- 【竹原方面から】国道185号、先小倉交差点より3分



呉高専ホームページ Website
<https://www.kure-nct.ac.jp/>

- 呉高専について、詳しくはホームページをご覧ください。
- 「呉高専日誌」では、学校行事や学生生活を日記風に紹介しています。



呉高専

検索

機械工学科

電気情報工学科

環境都市工学科

建築学科

プロジェクトデザイン工学専攻

<https://www.kure-nct.ac.jp/>



独立行政法人 国立高等専門学校機構

呉工業高等専門学校

〒737-8506 呉市阿賀南二丁目2-11

＜総務課＞ TEL (0823) 73-8400 FAX (0823) 71-9125

編集・発行 呉工業高等専門学校総務課